

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B1)

(11) 特許番号

特許第5875057号
(P5875057)

(45) 発行日 平成28年3月2日(2016.3.2)

(24) 登録日 平成28年1月29日(2016.1.29)

(51) Int.Cl. F 1
G 0 6 Q 5 0 / 1 8 (2012.01) G 0 6 Q 5 0 / 1 8 1 0 0

請求項の数 8 (全 62 頁)

| | |
|--|--|
| <p>(21) 出願番号 特願2015-90824 (P2015-90824)</p> <p>(22) 出願日 平成27年4月27日 (2015.4.27)</p> <p>審査請求日 平成27年4月27日 (2015.4.27)</p> <p>早期審査対象出願</p> | <p>(73) 特許権者 513004065 株式会社将星 神奈川県鎌倉市扇ガ谷一丁目8番9号 鎌 工会館ビル202号</p> <p>(74) 代理人 100155158 弁理士 渡部 仁</p> <p>(72) 発明者 渡部 仁 神奈川県鎌倉市扇ガ谷一丁目8番9号 鎌 工会館ビル202号 株式会社将星内</p> <p>審査官 木方 庸輔</p> |
|--|--|

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 商標支援システム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

商品又は役務の類似群情報を取得する類似群情報取得手段と、
商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報を、商品又は役務の類似群情報と対応づけて記憶する商品情報記憶手段のなかから、前記類似群情報取得手段で取得した類似群情報及び検索対象となる商品情報に対応する前記類似群情報に基づいて得られる類似群の数が所定条件を満たす当該商品情報を検索する商品情報検索手段とを備えることを特徴とする商標支援システム。

【請求項 2】

商品又は役務の類似群情報を取得する類似群情報取得手段と、
商品又は役務の類似群情報を含む商品情報を記憶する商品情報記憶手段のなかから、前記類似群情報取得手段で取得した類似群情報及び検索対象となる商品情報に含まれる前記類似群情報に基づいて得られる類似群の数が所定条件を満たす当該商品情報を検索する商品情報検索手段とを備えることを特徴とする商標支援システム。

【請求項 3】

請求項 1 及び 2 のいずれか 1 項において、
前記商品情報検索手段は、前記所定条件を満たす前記商品情報の組み合わせを検索することを特徴とする商標支援システム。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項において、

10

20

前記商品情報検索手段は、前記所定条件を満たし且つ商品又は役務の類似範囲が最も広くなる前記商品情報を検索することを特徴とする商標支援システム。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項において、

前記商品情報検索手段で索出した商品情報を出し、又は前記商品情報検索手段で索出した商品情報に基づいて、商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報を出力する商品情報出力手段を備えることを特徴とする商標支援システム。

【請求項 6】

請求項 5 において、

前記商品情報出力手段で出力した商品情報に係る商品又は役務の類似群情報を取得する第 2 類似群情報取得手段を備え、

前記商品情報検索手段は、前記類似群情報取得手段及び前記第 2 類似群情報取得手段で取得した類似群情報及び検索対象となる商品情報に係る商品又は役務の類似群情報に基づいて得られる類似群の数が前記所定条件を満たす当該商品情報を検索することを特徴とする商標支援システム。

【請求項 7】

請求項 5 及び 6 のいずれか 1 項において、

前記商品情報出力手段は、前記類似群情報取得手段で取得される類似群情報に係る商品又は役務と組み合わせた場合に類似群の数が増加する前記商品情報、類似群の数が増減しない前記商品情報、又は類似群の数が減少する前記商品情報を所定態様で出力することを特徴とする商標支援システム。

【請求項 8】

請求項 5 乃至 7 のいずれか 1 項において、

前記商品情報検索手段で索出した商品情報の統計情報を取得する統計情報取得手段を備え、

前記商品情報出力手段は、前記統計情報取得手段で取得した統計情報に基づいて、前記商品情報検索手段で索出した商品情報を出し、又は、前記統計情報取得手段で取得した統計情報及び前記商品情報検索手段で索出した商品情報に基づいて、商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報を出力することを特徴とする商標支援システム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、商標に関する支援を行うシステムに係り、特に、権利を取得する上での障害を少なくし、現在の業務から派生する業務に係る商品又は役務を検討することができる商標支援システムに関する。

【背景技術】

【0002】

従来、商標登録出願を支援する技術としては、例えば、特許文献 1 記載の技術が知られている。

【0003】

特許文献 1 記載の技術は、願書の作成時に検索キーワードを入力すると、入力した検索キーワードに対応する商品及び役務の区分に属するすべての商品又は役務が表示され、ユーザは、表示された商品又は役務のなかから所望のものを選択することができるというものである（同文献〔0033〕〔0042〕〔0044〕〔0046〕）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献 1】特開 2001 - 34671 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

ところで、商標登録出願を行うにあたっては、商標権が更新により永続的に保持できる権利である一方で、出願時の内容を超えて権利範囲を変更することはできないので、指定商品又は指定役務の内容について十分な検討が必要である。すなわち、現在の業務に係る商品又は役務だけを検討するのでは、将来の事業拡大等に伴い派生する新たな業務に十分に対応することができない権利を取得することとなる。この場合、後日、新たな業務に係る商品又は役務について権利を取得しなければならないが、この時既に第三者に権利を取得されてしまっているという事態もあり得る。したがって、商標登録出願を行うにあたっては、現在の業務に係る商品又は役務だけでなく、近い将来の事業拡大等に伴い派生する新たな業務を想定し、これに係る商品又は役務も含め十分に検討することが商標戦略上は望ましい。

10

【0006】

この方法として、例えば、特許文献1記載の技術を利用し、検索キーワードに対応する商品及び役務の区分に属するすべての商品又は役務を表示し、表示された商品又は役務のなかから、将来の事業拡大等に伴い派生する新たな業務に係る商品又は役務を探し出すという方法が考えられる。

【0007】

しかしながら、特許庁の商標審査便覧「41.100.03 商標の使用又は商標の使用の意思を確認するための審査に関する運用について」(以下、「運用基準」という。)によれば、願書において商品又は役務の指定が広範な範囲に及んでいる場合は、指定商品又は指定役務について商標の使用又は使用の意思があることに疑義があるとして拒絶理由通知を受けることがある。拒絶理由通知を受けると権利の取得に障害となることも少なくないことから、拒絶理由通知を事前に回避するためには、運用基準に適合する範囲内で商品又は役務を指定しなければならないところ、運用基準は事例によって異なる判断基準を採用しているため複雑・難解であり、運用基準に適合するかどうかの判断は決して容易ではない。

20

【0008】

特に、商品又は役務の数が多く優先順位を付けて商品又は役務を絞り込まなければならないケースでは困難を極める。例えば、第35類の役務として、(1)「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」(35K03・30A01)、(2)「かばん類及び袋物の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」(35K02・21C01)、(3)「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」(35K03・32A01)、(4)「職業のあっせん」(35D01)、(5)「求人情報の提供」(42G02)の優先順位で役務を希望する場合、優先順位に従って運用基準に適合させようとするれば役務(1)、(2)について検討した時点で運用基準に適合しなくなるので役務(1)又は(2)しか指定することができないという結論になるが、役務(2)を除外すれば、役務(1)、(3)~(5)については運用基準に適合するので指定することができる。

30

【0009】

また例えば、第35類の役務として、(1)「ヨットの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」(35K99・12A01)、(2)「ライダーの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」(35K99・12A02)、(3)「船舶用警音器の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」(35K99・12A01)、(4)「広告業」(35A01)、(5)「商品の販売に関する情報の提供」(35B01)の優先順位で役務を希望する場合、優先順位に従って運用基準に適合させようとするれば役務(1)、(2)について検討した時点で運用基準に適合しなくなるので役務(1)又は(2)しか指定することができないという結論になるが、役務(2)を除外すれば、役務(1)、(3)~(5)については運用基準に適合するので指定することができる。

40

50

【 0 0 1 0 】

いずれのケースでも、役務（１）又は（２）についてだけ出願するよりは、役務（１）、（３）～（５）について出願する方が、将来の事業拡大等に伴い派生する新たな業務に対応することができる権利を取得することができるのは明らかである。しかし、このような絞込を行うのは、運用基準が複雑・難解であるため現実的には難しい。

【 0 0 1 1 】

そこで、本発明は、このような従来技術の有する未解決の課題に着目してなされたものであって、権利を取得する上での障害を少なくし、現在の業務から派生する業務に係る商品又は役務を検討することができる商標支援システムを提供することを目的としている。

10

【課題を解決するための手段】

【 0 0 1 2 】

〔発明１〕 上記目的を達成するために、発明１の商標支援システムは、第１の商品又は役務の類似群情報を取得する類似群情報取得手段と、第２の商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報を記憶する商品情報記憶手段のなかから前記商品情報を検索する商品情報検索手段と、前記類似群情報取得手段で取得した類似群情報及び前記商品情報検索手段で索出した商品情報に係る商品又は役務の類似群情報に基づいて商品又は役務の類似群の数を取得する類似群数取得手段と、前記商品情報検索手段で索出した商品情報のうち前記類似群数取得手段で取得した類似群の数が所定条件を満たす前記商品情報を出し、又は当該所定条件を満たす商品情報に基づいて、商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報を出し、商品情報出力手段とを備える。

20

【 0 0 1 3 】

このような構成であれば、類似群情報取得手段により、第１の商品又は役務の類似群情報が取得され、商品情報検索手段により、商品情報記憶手段のなかから商品情報が検索される。そして、類似群数取得手段により、取得された類似群情報及び索出された商品情報に係る商品又は役務の類似群情報に基づいて商品又は役務の類似群の数が取得され、商品情報出力手段により、索出された商品情報のうち類似群の数が所定条件を満たす商品情報が出しされるか、又は、所定条件を満たす商品情報に基づいて、商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報が出しされる。

【 0 0 1 4 】

ここで、類似群情報取得手段は、例えば、入力装置等から類似群情報を入力してもよいし、外部の端末等から類似群情報を獲得又は受信してもよいし、記憶装置や記憶媒体等から類似群情報を読み出してもよいし、情報処理等により類似群情報を生成し又は算出してもよい。したがって、取得には、少なくとも入力、獲得、受信、読出（検索を含む。）、生成及び算出が含まれる。以下、取得の概念については同じである。

30

【 0 0 1 5 】

また、類似群情報は、例えば、商品又は役務の類似群を識別するための情報（例えば、名称、番号、ID、コード、URL等のリンク情報）として構成することができる。また、類似群情報は、例えば、文字、数字、図形、符合、記号、画像、音声その他の情報として構成することができる。また、類似群情報は、商品又は役務の類似群に関するキーワード（例えば、商品又は役務の類似群コードの一部を示す１又は複数のキーワード）として構成することができる。

40

【 0 0 1 6 】

また、商品情報は、例えば、商品若しくは役務又はこれが属するグループを識別するための情報（例えば、名称、番号、ID、コード、URL等のリンク情報）として構成することができる。また、商品情報は、例えば、文字、数字、図形、符合、記号、画像、音声その他の情報として構成することができる。また、商品情報は、商品若しくは役務又はこれが属するグループに関するキーワード（例えば、商品又は役務の名称の一部を示す１又は複数のキーワード）として構成することができる。

【 0 0 1 7 】

50

また、商品情報には、例えば、商標登録出願又は商標登録において指定された商品若しくは役務のうちの商品若しくは役務（この段落において単に「一の指定商品等」という。）又はこれが属するグループに関する商品情報、一の指定商品等を包括する上位概念の商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報、又は、一の指定商品等に包括される下位概念の商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報が含まれる。

【0018】

また、商品情報は、商品又は役務が属するグループに関する情報として類似群情報を含む場合と含まない場合がある。商品情報が類似群情報を含む場合は、例えば、次の第1の構成を採用することができる。

【0019】

第1の構成は、第2の商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報を、前記第2の商品又は役務の類似群情報と対応づけて前記商品情報記憶手段に記憶し、前記商品情報検索手段は、前記商品情報及びこれに対応する前記類似群情報を前記商品情報記憶手段のなかから検索し、前記類似群数取得手段は、前記類似群情報取得手段で取得した類似群情報及び前記商品情報検索手段で索出した類似群情報に基づいて商品又は役務の類似群の数を取得する。当該第1の構成において、商品情報を類似群情報と対応づけて記憶することとしては、例えば、（1）商品情報及び類似群情報を同一のレコードに登録するなど、直接対応づけて記憶すること、（2）商品情報及び中間情報を対応づけて登録するテーブルと、類似群情報及び中間情報を対応づけて登録するテーブルを設けるなど、中間に1又は複数の情報を介して記憶することが含まれる。すなわち、商品情報から類似群情報を辿ることができる態様であれば、あらゆるデータ構造を採用することができる。以下、情報を対応づけて記憶する概念については同じである。

【0020】

これに対し、商品情報が類似群情報を含む場合は、例えば、次の第2の構成を採用することができる。

【0021】

第2の構成は、第2の商品又は役務の類似群情報を含む商品情報を前記商品情報記憶手段に記憶し、前記類似群数取得手段は、前記類似群情報取得手段で取得した類似群情報及び前記商品情報検索手段で索出した商品情報に含まれる類似群情報に基づいて商品又は役務の類似群の数を取得する。

【0022】

また、類似群の数が所定条件を満たすこととしては、例えば、（1）類似群の数が所定以下となること、（2）類似群の数が所定以上となること、（3）類似群の数が所定値となること、（4）類似群の数に対し演算（例えば、関数演算、符号化、暗号化、復号化、圧縮又は解凍その他の演算）を行って得られる情報（この段落において単に「類似群数演算情報」という。）が所定以下となること、（5）類似群数演算情報が所定以上となること、（6）類似群数演算情報が所定値となること、（7）類似群数演算情報が所定情報と一致又は関連すること、（8）類似群数演算情報が所定情報に含まれること、（9）類似群数演算情報が所定情報を含むこと、（10）類似群数演算情報が所定情報と一致せず又は関連しないこと、（11）類似群数演算情報が所定情報に含まれないこと、（12）類似群数演算情報が所定情報を含まないことが含まれる。ここで、「一致」「関連」「含む」「含まれる」とは、情報等の内容、属性又は概念について、一致すること、関連すること、含むこと、又は、含まれることが含まれる。また、「一致」「関連」「含む」「含まれる」における情報等の対比は、一の情報等と他の情報等を対比すること、一の情報等を演算した結果と他の情報等を対比すること、一の情報等を演算した結果と他の情報等を演算した結果を対比することが含まれる。

【0023】

また、商品情報出力手段は、例えば、表示、印刷、音声出力、記憶装置や記憶媒体等への書き出し、外部の端末等への送信、バイブレーション等の振動、発熱その他の方法によ

10

20

30

40

50

り商品情報を出力することができる。したがって、出力には、少なくとも表示、印刷、音声出力、書き出し、送信、振動及び発熱が含まれる。以下、出力の概念については同じである。

【0024】

また、商品情報出力手段による出力の形態には、例えば、所定条件を満たす商品情報に係る商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報を出力すること、所定条件を満たす商品情報に係る商品若しくは役務を包括する上位概念の商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報を出力すること、又は、所定条件を満たす商品情報に係る商品若しくは役務に包括される下位概念の商品若しくは役務又はこれが属するグループを出力することが含まれる。

10

【0025】

また、商品情報記憶手段は、商品情報をあらゆる手段で且つあらゆる時期に記憶するものであり、商品情報を予め記憶してあるものであってもよいし、商品情報を予め記憶することなく、本システムの動作時に外部からの入力等によって商品情報を記憶するようになっていてもよい。

【0026】

また、本システムは、単一の装置、端末その他の機器として実現するようにしてもよいし、複数の装置、端末その他の機器を通信可能に接続したネットワークシステムとして実現するようにしてもよい。後者の場合、各構成要素は、それぞれ通信可能に接続されていれば、複数の機器等のうちいずれに属していてもよい。

20

【0027】

〔発明2〕 さらに、発明2の商標支援システムは、発明1の商標支援システムにおいて、前記商品情報出力手段で出力した商品情報に係る商品又は役務の類似群情報を取得する第2類似群情報取得手段と、前記類似群情報取得手段及び前記第2類似群情報取得手段で取得した類似群情報並びに前記商品情報検索手段で索出した商品情報に係る商品又は役務の類似群情報に基づいて商品又は役務の類似群の数を取得する第2類似群数取得手段とを備え、前記商品情報出力手段は、前記商品情報検索手段で索出した商品情報のうち前記第2類似群数取得手段で取得した類似群の数が所定条件を満たす前記商品情報を出力し、又は当該所定条件を満たす商品情報に基づいて、商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報を出力する。

30

【0028】

このような構成であれば、第2類似群情報取得手段により、出力された商品情報に係る商品又は役務の類似群情報が取得され、第2類似群数取得手段により、類似群情報取得手段及び第2類似群情報取得手段で取得された類似群情報並びに索出された商品情報に係る商品又は役務の類似群情報に基づいて商品又は役務の類似群の数が取得される。そして、商品情報出力手段により、索出された商品情報のうち類似群の数が所定条件を満たす商品情報が出力されるか、又は、所定条件を満たす商品情報に基づいて、商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報が出力される。

【0029】

〔発明3〕 さらに、発明3の商標支援システムは、発明1及び2のいずれか1の商標支援システムにおいて、前記商品情報出力手段は、前記所定条件を満たす商品情報の組み合わせを出力し、又は前記所定条件を満たす商品情報の組み合わせに基づいて、商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報の組み合わせを出力する。

40

【0030】

このような構成であれば、商品情報出力手段により、所定条件を満たす商品情報の組み合わせが出力されるか、又は、所定条件を満たす商品情報の組み合わせに基づいて、商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報の組み合わせが出力される。

【0031】

ここで、商品情報の組み合わせを決定する構成としては、例えば、発明5の統計情報を用いることができる。

50

【 0 0 3 2 】

〔発明 4〕 さらに、発明 4 の商標支援システムは、発明 1 乃至 3 のいずれか 1 の商標支援システムにおいて、前記商品情報出力手段は、前記所定条件を満たし且つ商品若しくは役務の類似範囲が最も広くなる商品情報を出し、又は前記所定条件を満たし且つ商品若しくは役務の類似範囲が最も広くなる商品情報に基づいて、商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報を出しする。

【 0 0 3 3 】

このような構成であれば、商品情報出力手段により、所定条件を満たし且つ商品若しくは役務の類似範囲が最も広くなる商品情報が出力されるか、又は、所定条件を満たし且つ商品若しくは役務の類似範囲が最も広くなる商品情報に基づいて、商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報が出力される。

10

【 0 0 3 4 】

〔発明 5〕 さらに、発明 5 の商標支援システムは、発明 1 乃至 4 のいずれか 1 の商標支援システムにおいて、前記商品情報出力手段は、前記第 1 の商品又は役務と組み合わせた場合に類似群の数が増加する前記商品情報、類似群の数が増減しない前記商品情報、又は類似群の数が減少する前記商品情報を所定態様で出力する。

【 0 0 3 5 】

このような構成であれば、商品情報出力手段により、第 1 の商品又は役務と組み合わせた場合に類似群の数が増加する商品情報、類似群の数が増減しない商品情報、又は類似群の数が減少する商品情報が所定態様で出力される。

20

【 0 0 3 6 】

ここで、所定態様での出力の形態には、例えば、類似群の数が増加する商品情報に特定の色、マークその他の区別を付すること、類似群の数が増加する商品情報を優先的（例えば、上位）に出力すること、類似群の数が増加する商品情報だけを出しすること、類似群の数が増減しない商品情報に特定の色、マークその他の区別を付すること、類似群の数が増減しない商品情報を優先的に出力すること、類似群の数が増減しない商品情報だけを出しすること、類似群の数が減少する商品情報に特定の色、マークその他の区別を付すること、類似群の数が減少する商品情報を優先的に出力すること、類似群の数が減少する商品情報だけを出しすることが含まれる。

【 0 0 3 7 】

〔発明 6〕 さらに、発明 6 の商標支援システムは、発明 1 乃至 5 のいずれか 1 の商標支援システムにおいて、前記商品情報出力手段は、前記類似群数取得手段で取得した類似群の数が多い順又は少ない順に前記商品情報を出しする。

30

【 0 0 3 8 】

このような構成であれば、商品情報出力手段により、取得された類似群の数が多い順又は少ない順に商品情報が出力される。

【 0 0 3 9 】

〔発明 7〕 さらに、発明 7 の商標支援システムは、発明 1 乃至 6 のいずれか 1 の商標支援システムにおいて、前記商品情報検索手段で索出した商品情報の統計情報を取得する統計情報取得手段を備え、前記商品情報出力手段は、前記統計情報取得手段で取得した統計情報に基づいて、前記所定条件を満たす商品情報を出し、又は、前記統計情報取得手段で取得した統計情報及び前記所定条件を満たす商品情報に基づいて、商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報を出しする。

40

【 0 0 4 0 】

このような構成であれば、統計情報取得手段により、索出された商品情報の統計情報が取得され、商品情報出力手段により、取得された統計情報に基づいて、所定条件を満たす商品情報が出力されるか、又は、取得された統計情報及び所定条件を満たす商品情報に基づいて、商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報が出力される。

【 0 0 4 1 】

ここで、統計情報には、例えば、出現回数、出現率、順位、差分、分散、標準誤差、標

50

準偏差、偏差値、平均値、中央値、最頻値、尖度、歪度、最小値、最大値その他の統計量が含まれる。

【 0 0 4 2 】

〔 発 明 8 〕 さらに、発明 8 の商標支援システムは、発明 7 の商標支援システムにおいて、前記統計情報取得手段は、前記商品情報検索手段で索出した商品情報について同一の内容ごと又は所定の分類ごとに出現回数を算出する。

【 0 0 4 3 】

このような構成であれば、統計情報取得手段により、索出された商品情報について同一の内容ごと又は所定の分類ごとに出現回数が算出され、商品情報出力手段により、算出された出現回数に基づいて、所定条件を満たす商品情報が出力されるか、又は、算出された出現回数及び所定条件を満たす商品情報に基づいて、商品若しくは役務又はこれが属するグループに関する商品情報が出力される。

10

【 0 0 4 4 】

ここで、商品情報出力手段による出力の形態には、例えば、出現回数の多い順に商品情報を出力すること、出現回数の少ない順に商品情報を出力すること、出現回数が所定以上の商品情報を出力すること、又は、出現回数が所定以下の商品情報を出力することが含まれる。

【 0 0 4 5 】

また、同一の内容ごとに出現回数を算出するとは、例えば、索出された商品情報に係る商品が「A」「B」「A」「B」「B」の場合、商品「A」の出現回数を「2」、商品「B」の出現回数を「3」として算出することをいう。また、所定の分類ごとに出現回数を算出するとは、例えば、索出された商品情報に係る商品が「A 1 2」「B 3 4」「A 5 6」「B 7 8」「B 9 0」の場合、「A」を含む商品及び「B」を含む商品という分類を規定し、「A」を含む商品の出現回数を「2」、「B」を含む商品の出現回数を「3」として算出することをいう。分類方法は、任意である。

20

【 発 明 の 効 果 】

【 0 0 4 6 】

以上説明したように、発明 1 の商標支援システムによれば、第 1 の商品又は役務（例えば、現在の業務に係る商品又は役務）に対し、類似群の数が所定条件を満たす商品情報が得られるので、従来に比して、権利を取得する上での障害を少なくし、現在の業務から派生する業務に係る商品又は役務を検討することができる。

30

【 0 0 4 7 】

さらに、発明 2 の商標支援システムによれば、第 1 の商品又は役務（例えば、現在の業務に係る商品又は役務）及び得られた商品情報に係る商品又は役務（例えば、現在の業務から派生する業務に係る一の商品又は役務）に対し、さらに類似群の数が所定条件を満たす商品情報が得られるので、権利を取得する上での障害を少なくし、現在の業務から派生する業務に係る商品又は役務をさらに検討することができる。

【 0 0 4 8 】

さらに、発明 3 の商標支援システムによれば、第 1 の商品又は役務（例えば、現在の業務に係る商品又は役務）に対し、類似群の数が所定条件を満たす商品情報の組み合わせが得られるので、権利を取得する上での障害を少なくし、現在の業務から派生する業務に係る商品又は役務をさらに検討することができる。

40

【 0 0 4 9 】

さらに、発明 4 の商標支援システムによれば、権利を取得する上での障害を少なくし、類似範囲が最も広くなる商品又は役務を検討することができる。

【 0 0 5 0 】

さらに、発明 5 の商標支援システムによれば、第 1 の商品又は役務と組み合わせた場合に類似群の数が増加する商品情報、類似群の数が増減しない商品情報、又は類似群の数が減少する商品情報を把握することができる。

【 0 0 5 1 】

50

さらに、発明 6 の商標支援システムによれば、第 1 の商品又は役務と組み合わせた場合に類似群の数が多い商品情報又は類似群の数が少ない商品情報を優先的に得ることができる。

【 0 0 5 2 】

さらに、発明 7 の商標支援システムによれば、商品情報の統計情報に基づいて商品情報が出力されるので、統計的に商品又は役務を検討することができる。

【 0 0 5 3 】

さらに、発明 8 の商標支援システムによれば、商品情報について同一の内容ごと又は所定の分類ごとの出現回数に基づいて商品情報が出力されるので、出現回数と関連して商品情報を把握することができる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 5 4 】

【 図 1 】 出願支援装置 1 0 0 のハードウェア構成を示す図である。

【 図 2 】 記憶装置 4 2 に記憶されている商品情報テーブルのデータ構造を示す図である。

【 図 3 】 検索処理を示すフローチャートである。

【 図 4 】 商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 図 5 】 商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 図 6 】 商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 図 7 】 記憶装置 4 2 に記憶されている商品情報テーブルのデータ構造を示す図である。

【 図 8 】 検索処理を示すフローチャートである。

【 図 9 】 商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 図 1 0 】 商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 図 1 1 】 検索処理を示すフローチャートである。

【 図 1 2 】 商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 図 1 3 】 検索処理を示すフローチャートである。

【 図 1 4 】 商品（役務）の類似群コードを検索するための検索画面である。

【 図 1 5 】 記憶装置 4 2 に記憶されている商品情報テーブルのデータ構造を示す図である。

【 図 1 6 】 検索処理を示すフローチャートである。

【 図 1 7 】 商品（役務）の類似群コードを検索するための検索画面である。

【 図 1 8 】 検索処理を示すフローチャートである。

【 図 1 9 】 商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 図 2 0 】 商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 図 2 1 】 商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 図 2 2 】 商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 図 2 3 】 記憶装置 4 2 に記憶されている商品情報テーブルのデータ構造を示す図である。

【 図 2 4 】 検索処理を示すフローチャートである。

【 図 2 5 】 商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 図 2 6 】 記憶装置 4 2 に記憶されている商品情報テーブルのデータ構造を示す図である。

【 図 2 7 】 商標登録出願の内容の一例を示す図である。

【 図 2 8 】 商標登録出願の内容の一例を示す図である。

【 図 2 9 】 商標登録出願の内容の一例を示す図である。

【 図 3 0 】 検索処理を示すフローチャートである。

【 図 3 1 】 商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 図 3 2 】 記憶装置 4 2 に記憶されている商品情報テーブルのデータ構造を示す図である。

【 図 3 3 】 記憶装置 4 2 に記憶されている書誌情報テーブルのデータ構造を示す図である。

10

20

30

40

50

【図34】検索処理を示すフローチャートである。
 【図35】商品（役務）を検索するための検索画面である。
 【図36】商品（役務）を検索するための検索画面である。
 【図37】商品（役務）を検索するための検索画面である。
 【図38】検索処理を示すフローチャートである。
 【図39】商品（役務）を検索するための検索画面である。
 【図40】検索処理を示すフローチャートである。
 【図41】商品（役務）の類似群コードを検索するための検索画面である。
 【図42】記憶装置42に記憶されている商品情報テーブルのデータ構造を示す図である

10

【図43】検索処理を示すフローチャートである。
 【図44】商品（役務）の類似群コードを検索するための検索画面である。
 【図45】商品（役務）を検索するための検索画面である。
 【図46】ネットワークシステムの構成を示すブロック図である。
 【発明を実施するための形態】

【0055】

〔第1の実施の形態〕

以下、本発明の第1の実施の形態を説明する。図1乃至図6は、本実施の形態を示す図である。

【0056】

20

まず、本発明を適用する出願支援装置100の構成を説明する。

図1は、出願支援装置100のハードウェア構成を示す図である。

【0057】

出願支援装置100は、図1に示すように、制御プログラムに基づいて演算及びシステム全体を制御するCPU（Central Processing Unit）30と、所定領域に予めCPU30の制御プログラム等を格納しているROM（Read Only Memory）32と、ROM32等から読み出したデータやCPU30の演算過程に必要な演算結果を格納するためのRAM（Random Access Memory）34と、外部装置に対してデータの入出力を媒介するI/F（InterFace）38とで構成されており、これらは、データを転送するための信号線であるバス39で相互に且つデータ授受可能に接続されている。

30

【0058】

I/F38には、外部装置として、ヒューマンインターフェースとしてデータの入力可能なキーボードやマウス等からなる入力装置40と、データやテーブル等をファイルとして格納する記憶装置42と、画像信号に基づいて画面を表示する表示装置44とが接続されている。

【0059】

次に、記憶装置42のデータ構造を説明する。

図2は、記憶装置42に記憶されている商品情報テーブルのデータ構造を示す図である

【0060】

40

記憶装置42は、図2に示すように、商品又は役務（以下、「商品（役務）」と表記する。）を登録する商品情報テーブルを記憶している。

【0061】

商品情報テーブルには、商品（役務）ごとに1つのレコードが登録されている。各レコードは、商品（役務）を登録するフィールドと、その商品（役務）の類似群コードを登録するフィールドとを含んで構成されている。商品情報テーブルは、例えば、特許庁が発行する類似商品・役務審査基準をもとに作成することができる。図2の例では、理解を容易にするため、第35類に属する役務の一部を登録した例を示しているが、必要に応じて、第35類に属する他の役務又は第35類以外の区分に属する商品（役務）を登録することができる。

50

【 0 0 6 2 】

次に、CPU 30で実行される処理を説明する。

CPU 30は、MPU (Micro-Processing Unit) 等からなり、ROM 32の所定領域に格納されている所定のプログラムを起動させ、そのプログラムに従って、図3のフローチャートに示す検索処理を実行する。

【 0 0 6 3 】

図3は、検索処理を示すフローチャートである。

検索処理は、ユーザからの検索要求に応じて実行される処理であって、CPU 30において実行されると、図3に示すように、まず、ステップS 100に移行する。

【 0 0 6 4 】

ステップS 100では、商品(役務)を入力し、ステップS 102に移行して、入力した商品(役務)と一致する商品(役務)を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、ステップS 104に移行して、商品(役務)及びこれに対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、ステップS 106に移行する。

【 0 0 6 5 】

ステップS 106では、ステップS 102で索出した類似群コード及びステップS 104で索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出する。

【 0 0 6 6 】

運用基準には、商標の使用又は使用の意思があることに疑義があるとして拒絶理由通知を行う基準として、大きく4つの基準が示されている。

【 0 0 6 7 】

第1の基準は、「衣料品、飲食料品及び生活用品に係る各種商品を一括して取り扱う小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」(以下、「総合小売等役務」という。)に該当する役務を個人が指定してきた場合である(運用基準1.(1)(a))。

【 0 0 6 8 】

第2の基準は、総合小売等役務に該当する役務を法人が指定してきた場合であって、「自己の業務に係る商品(役務)について使用」をするものであるか否かについて職権で調査を行っても、出願人が総合小売等役務を行っているとは認められない場合である(運用基準1.(1)(b))。

【 0 0 6 9 】

第3の基準は、類似の関係にない複数の小売等役務を指定してきた場合である(運用基準1.(1)(c))。

【 0 0 7 0 】

第4の基準は、1区分内において、8以上の類似群コードにわたる商品(役務)を指定している場合である(運用基準1.(2))。ただし、一の商品(役務)で多数の類似群コードが付与されている商品(役務)であって、他に適当な表示が認められない場合は、その商品(役務)の類似群コードが2以上であっても、1の類似群コードとして取り扱うものとする。また、包括概念表示の商品(役務)は、個々の類似群コード単位に分割して表示することが困難となる場合が多いため、包括概念表示の商品(役務)が2以上の類似群コードが付与されている商品(役務)であっても、1の類似群コードとして取り扱うものとする。小売等役務については、取扱商品の類似群コードは考慮しないものとする。

【 0 0 7 1 】

そこで、ステップS 106では、例えば、上記第1及び第2の基準に対応する処理として、ステップS 102で索出した類似群コード及びステップS 104で索出した一の商品(役務)の類似群コードの一方又は両方に総合小売等役務の類似群コード「35K01」が含まれている場合は、その一の商品(役務)についての類似群の数を最大値(例えば、「65,535」として算出する。

【 0 0 7 2 】

10

20

30

40

50

また例えば、上記第3の基準に対応する処理として、ステップS102で索出した類似群コード及びステップS104で索出した一の商品（役務）の類似群コードの両方に特定小売等役務の類似群コード「35K02」～「35K21」「35K99」が含まれており、且つ、それら類似群コードが一致しない場合は、その一の商品（役務）についての類似群の数を最大値として算出する。また、ステップS102で索出した類似群コード及びステップS104で索出した一の商品（役務）の類似群コードの両方に特定小売等役務の類似群コード「35K02」～「35K21」「35K99」が含まれており、且つ、それら類似群コードが一致する場合は、その一の商品（役務）についての類似群の数を「2」として算出する。

【0073】

10

また例えば、上記第3の基準に対応する処理として、ステップS102で索出した類似群コード及びステップS104で索出した一の商品（役務）の類似群コードの両方に特定小売等役務の類似群コード「35K99」が含まれており、且つ、その取扱商品の類似群コードが一致しない場合は、その一の商品（役務）についての類似群の数を最大値として算出する。また、ステップS102で索出した類似群コード及びステップS104で索出した一の商品（役務）の類似群コードの両方に特定小売等役務の類似群コード「35K99」が含まれており、且つ、その取扱商品の類似群コードが一致する場合は、その一の商品（役務）についての類似群の数を「2」として算出する。

【0074】

また例えば、上記第4の基準に対応する処理として、ステップS102で索出した類似群コードに基づいて運用基準1.(2)に従って求められる類似群コードの数と、ステップS104で索出した一の商品（役務）の類似群コードに基づいて運用基準1.(2)に従って求められる類似群コードの数の合計を、その一の商品（役務）についての類似群の数として算出する。

20

【0075】

また例えば、他の処理として、ステップS100で入力した商品（役務）と一致する商品（役務）についての類似群の数を最大値として算出する。これは、ステップS100で入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を表示しないためである。

【0076】

そして、ステップS108に移行して、ステップS104で索出した商品（役務）のうちステップS106で算出した類似群の数が所定値（例えば、「7」）以下となる商品（役務）を表示装置44に表示し、一連の処理を終了する。

30

【0077】

次に、本実施の形態の動作を説明する。

まず、第1の事例を説明する。

図4は、商品（役務）を検索するための検索画面である。

【0078】

ユーザは、図4に示すように、例えば、所望の商品（役務）として「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」を入力装置40から入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップS102を経て、「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「35K03・30A01」が商品情報テーブルのなかから検索される。

40

【0079】

次いで、ステップS104、S106を経て、商品（役務）及びこれに対応する類似群コードが商品情報テーブルのなかから検索され、ステップS102で索出された類似群コード及びステップS104で索出された類似群コードに基づいて類似群の数が算出される。

【0080】

図2の例では、まず、第1番目のレコードには、役務「広告業」及び類似群コード「3

50

「5A01」が登録されているので、上記第4の基準によれば、ステップS102で索出された類似群コード「35K03・30A01」との関係では、役務「広告業」についての類似群の数は「2」として算出される。同様に、第2番目～第8番目のレコードには、役務「トレーディングスタンプの発行」及び類似群コード「35A02」が、役務「商品の販売に関する情報の提供」及び類似群コード「35B01」が、役務「職業のあっせん」及び類似群コード「35D01」が、役務「速記」及び類似群コード「35G01」が、役務「書類の複製」及び類似群コード「35G02」が、役務「コンピュータデータベースへの情報編集」及び類似群コード「35G03・42P02」が、役務「求人情報の提供」及び類似群コード「42G02」がそれぞれ登録されているので、上記第4の基準によれば、これら役務についての類似群の数はいずれも「2」として算出される。また、第11番目のレコードには、役務「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K03・32A01」が登録されているので、上記第3の基準によれば、この役務についての類似群の数は「2」として算出される。

10

【0081】

これに対し、第9番目のレコードには、役務「衣料品・飲食料品及び生活用品に係る各種商品を一括して取り扱う小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K01」が登録されているが、上記第1又は第2の基準によれば、この役務についての類似群の数は最大値として算出される。また、第10番目、第13番目～第15番目のレコードには、役務「かばん類及び袋物の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K02・21C01」が、役務「ヨットの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K99・12A01」が、役務「船舶用警音器の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K99・12A01」が、役務「グライダーの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K99・12A02」がそれぞれ登録されているが、上記第3の基準によれば、これら役務についての類似群の数はいずれも最大値として算出される。

20

【0082】

なお、第12番目のレコードには、役務「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K03・30A01」が登録されているが、入力された商品（役務）と一致するので、この役務についての類似群の数は最大値として算出される。

30

【0083】

そして、ステップS108を経て、図4に示すように、算出された類似群の数が所定以下となる商品（役務）「広告業」「トレーディングスタンプの発行」「商品の販売に関する情報の提供」「職業のあっせん」「速記」「書類の複製」「コンピュータデータベースへの情報編集」「求人情報の提供」「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」が表示される。

【0084】

ここで、従来技術との対比を行うと、特許文献1の技術にあっては、(1)「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」(35K03・30A01)、(2)「かばん類及び袋物の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」(35K02・21C01)、(3)「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」(35K03・32A01)、(4)「職業のあっせん」(35D01)、(5)「求人情報の提供」(42G02)の優先順位で役務を希望する場合、優先順位に従って運用基準に適合させようとするれば役務(1)、(2)について検討した時点で運用基準に適合しなくなるので役務(1)又は(2)しか指定することができないという結論になる。これに対し、本実施の形態に係る図4の例では、役務(1)を入力すれば役務(2)が表示されないので、運用基準に適合する役務(1)、(3)～(5)を指定することができる。

40

【0085】

50

次に、第2の事例を説明する。

図5は、商品（役務）を検索するための検索画面である。

【0086】

ユーザは、図5に示すように、例えば、所望の商品（役務）として「ヨットの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」を入力装置40から入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップS102を経て、「ヨットの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「35K99・12A01」が商品情報テーブルのなかから検索される。

【0087】

次いで、ステップS104、S106を経て、商品（役務）及びこれに対応する類似群コードが商品情報テーブルのなかから検索され、ステップS102で索出された類似群コード及びステップS104で索出された類似群コードに基づいて類似群の数が算出される。

【0088】

図2の例では、まず、第1番目のレコードには、役務「広告業」及び類似群コード「35A01」が登録されているので、上記第4の基準によれば、ステップS102で索出された類似群コード「35K99・12A01」との関係では、役務「広告業」についての類似群の数は「2」として算出される。同様に、第2番目～第8番目のレコードには、役務「トレーディングスタンプの発行」及び類似群コード「35A02」が、役務「商品の販売に関する情報の提供」及び類似群コード「35B01」が、役務「職業のあっせん」及び類似群コード「35D01」が、役務「速記」及び類似群コード「35G01」が、役務「書類の複製」及び類似群コード「35G02」が、役務「コンピュータデータベースへの情報編集」及び類似群コード「35G03・42P02」が、役務「求人情報の提供」及び類似群コード「42G02」がそれぞれ登録されているので、上記第4の基準によれば、これら役務についての類似群の数はいずれも「2」として算出される。また、第14番目のレコードには、役務「船舶用警音器の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K99・12A01」が登録されているので、上記第3の基準によれば、この役務についての類似群の数は「2」として算出される。

【0089】

これに対し、第9番目のレコードには、役務「衣料品・飲食料品及び生活用品に係る各種商品を一括して取り扱う小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K01」が登録されているが、上記第1又は第2の基準によれば、この役務についての類似群の数は最大値として算出される。また、第10番目～第12番目、第15番目のレコードには、役務「かばん類及び袋物の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K02・21C01」が、役務「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K03・32A01」が、役務「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K03・30A01」が、役務「グライダーの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K99・12A02」がそれぞれ登録されているが、上記第3の基準によれば、これら役務についての類似群の数はいずれも最大値として算出される。

【0090】

なお、第13番目のレコードには、役務「ヨットの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K99・12A01」が登録されているが、入力された商品（役務）と一致するので、この役務についての類似群の数は最大値として算出される。

【0091】

そして、ステップS108を経て、図5に示すように、算出された類似群の数が所定以

10

20

30

40

50

下となる商品（役務）「広告業」「トレーディングスタンプの発行」「商品の販売に関する情報の提供」「職業のあっせん」「速記」「書類の複製」「コンピュータデータベースへの情報編集」「求人情報の提供」「船舶用警音器の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」が表示される。

【0092】

ここで、従来技術との対比を行うと、特許文献1の技術にあつては、(1)「ヨットの
小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」(35K99・12A0
1)、(2)「グライダーの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提
供」(35K99・12A02)、(3)「船舶用警音器の小売又は卸売の業務において
行われる顧客に対する便益の提供」(35K99・12A01)、(4)「広告業」(3
5A01)、(5)「商品の販売に関する情報の提供」(35B01)の優先順位で役務
を希望する場合、優先順位に従って運用基準に適合させようとするれば役務(1)、(2)
について検討した時点で運用基準に適合しなくなるので役務(1)又は(2)しか指定す
ることができないという結論になる。これに対し、本実施の形態に係る図5の例では、役
務(1)を入力すれば役務(2)が表示されないので、運用基準に適合する役務(1)、
(3)～(5)を指定することができる。

10

【0093】

次に、第3の事例を説明する。

図6は、商品（役務）を検索するための検索画面である。

【0094】

ユーザは、図6に示すように、例えば、所望の商品（役務）として「衣料品・飲食料
品及び生活用品に係る各種商品を一括して取り扱う小売又は卸売の業務において行われる顧
客に対する便益の提供」を入力装置40から入力し、検索ボタンをクリックすると、ステ
ップS102を経て、「衣料品・飲食料品及び生活用品に係る各種商品を一括して取り扱
う小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と一致する商品（役
務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されて
いる類似群コード「35K01」が商品情報テーブルのなかから検索される。

20

【0095】

次いで、ステップS104、S106を経て、商品（役務）及びこれに対応する類似群
コードが商品情報テーブルのなかから検索され、ステップS102で索出された類似群コ
ード及びステップS104で索出された類似群コードに基づいて類似群の数が算出される
。

30

【0096】

図2の例では、第1番目～第8番目、第10番目～第15番目のレコードには、役務「
広告業」及び類似群コード「35A01」が、役務「トレーディングスタンプの発行」及
び類似群コード「35A02」が、役務「商品の販売に関する情報の提供」及び類似群コ
ード「35B01」が、役務「職業のあっせん」及び類似群コード「35D01」が、役
務「速記」及び類似群コード「35G01」が、役務「書類の複製」及び類似群コード「
35G02」が、役務「コンピュータデータベースへの情報編集」及び類似群コード「3
5G03・42P02」が、役務「求人情報の提供」及び類似群コード「42G02」が
、役務「かばん類及び袋物の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提
供」及び類似群コード「35K02・21C01」が、役務「食肉の小売又は卸売の業務
において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K03・32A01
」が、役務「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提
供」及び類似群コード「35K03・30A01」が、役務「ヨットの小売又は卸売の業
務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K99・12A0
1」が、役務「船舶用警音器の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の
提供」及び類似群コード「35K99・12A01」が、役務「グライダーの小売又は卸
売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K99・1
2A02」がそれぞれ登録されているが、上記第1又は第2の基準によれば、ステップS

40

50

102で索出された類似群コード「35K01」との関係では、これら役務についての類似群の数はいずれも最大値として算出される。

【0097】

なお、第9番目のレコードには、役務「衣料品・飲食料品及び生活用品に係る各種商品を一括して取り扱う小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K01」が登録されているが、入力された商品（役務）と一致するので、この役務についての類似群の数は最大値として算出される。

【0098】

そして、ステップS108を経て、図6に示すように、商品（役務）は何も表示されない。

10

【0099】

次に、本実施の形態の効果を説明する。

本実施の形態では、商品（役務）を入力し、入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、商品（役務）及びこれに対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、索出した商品（役務）のうち類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）を表示する。

【0100】

これにより、所望の商品（役務）（例えば、現在の業務に係る商品（役務））に対し、類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）が得られるので、従来に比して、権利を取得する上での障害を少なくし、現在の業務から派生する業務に係る商品（役務）を検討することができる。

20

【0101】

本実施の形態において、記憶装置42は、発明1の商品情報記憶手段に対応し、ステップS102は、発明1の類似群情報取得手段に対応し、ステップS104は、発明1の商品情報検索手段に対応し、ステップS106は、発明1の類似群数取得手段に対応している。また、ステップS108は、発明1の商品情報出力手段に対応し、類似群コードは、発明1の類似群情報に対応している。

【0102】

30

〔第2の実施の形態〕

次に、本発明の第2の実施の形態を説明する。図7乃至図10は、本実施の形態を示す図である。なお、以下、上記第1の実施の形態と異なる部分についてのみ説明し、重複する部分については同一の符号を付して説明を省略する。

【0103】

まず、記憶装置42のデータ構造を説明する。

図7は、記憶装置42に記憶されている商品情報テーブルのデータ構造を示す図である。

【0104】

記憶装置42は、図2の商品情報テーブルに代えて、図7の商品情報テーブルを記憶している。

40

【0105】

商品情報テーブルには、図7に示すように、商品（役務）ごとに1つのレコードが登録されている。各レコードは、商品（役務）を登録するフィールドと、その商品（役務）が属する区分を登録するフィールドと、その商品（役務）の類似群コードを登録するフィールドとを含んで構成されている。

【0106】

次に、CPU30で実行される処理を説明する。

CPU30は、図3のフローチャートに示す検索処理に代えて、図8のフローチャートに示す検索処理を実行する。

50

【 0 1 0 7 】

図 8 は、検索処理を示すフローチャートである。

検索処理は、ユーザからの検索要求に応じて実行される処理であって、CPU 30 において実行されると、図 8 に示すように、まず、ステップ S 1 5 0 に移行する。

【 0 1 0 8 】

ステップ S 1 5 0 では、商品（役務）1 及びこれが属する区分 1 を入力し、ステップ S 1 5 2 に移行して、商品（役務）2 及びこれが属する区分 2 を入力し、ステップ S 1 5 4 に移行して、商品（役務）3 及びこれが属する区分 3 を入力し、ステップ S 1 5 6 に移行する。ここで、商品（役務）1 ~ 3 のいずれか 1 つは必須の入力項目であり、商品（役務）1 ~ 3 の他のもの及び区分 1 ~ 3 は任意の入力項目である。

10

【 0 1 0 9 】

ステップ S 1 5 6 では、入力した商品（役務）1 ~ 3 ごとに、その商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索する。具体的な検索方法は、次のとおりである。

【 0 1 1 0 】

1 つの商品（役務）を入力した場合（例えば、商品（役務）1 を入力した場合は、商品（役務）1 と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索する。2 つの商品（役務）を入力した場合（例えば、商品（役務）1、2 を入力した場合は、商品（役務）1、2 のそれぞれについて同様の検索を行い、商品（役務）1 に対応する類似群コード及び商品（役務）2 に対応する類似群コードを検索する。3 つの商品（役務）を入力した場合（例えば、商品（役務）1 ~ 3 を入力した場合は、商品（役務）1 ~ 3 のそれぞれについて同様の検索を行い、商品（役務）1 に対応する類似群コード、商品（役務）2 に対応する類似群コード及び商品（役務）3 に対応する類似群コードを検索する。

20

【 0 1 1 1 】

区分を入力した場合（例えば、商品（役務）1 及び区分 1 を入力した場合は、区分 1 で且つ商品（役務）1 と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索する。

30

【 0 1 1 2 】

次いで、ステップ S 1 0 4 を経て、ステップ S 1 5 8 に移行して、ステップ S 1 5 6 で索出した 1 又は複数の類似群コード及びステップ S 1 0 4 で索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出する。上記第 1 の実施の形態においては、2 つの商品（役務）の類似群コードに基づいて類似群の数を算出したが、ステップ S 1 5 8 において、3 つ以上の商品（役務）の類似群コードに基づいて類似群の数を算出する場合も、ステップ S 1 0 6 と同様に行うことができる。

【 0 1 1 3 】

そして、ステップ S 1 0 8 を経て、一連の処理を終了する。

40

次に、本実施の形態の動作を説明する。

【 0 1 1 4 】

まず、2 つの商品（役務）を入力して検索を行う場合を説明する。

図 9 は、商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 0 1 1 5 】

ユーザは、図 9 に示すように、例えば、所望の商品（役務）1 及び区分 1 として「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」「35」を、所望の商品（役務）2 及び区分 2 として「職業のあっせん」「35」を入力装置 40 から入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップ S 1 5 6 を経て、第 35 類で且つ商品（役務）1 「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供

50

」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「35K03・30A01」が商品情報テーブルのなかから検索される。また、第35類で且つ商品（役務）2「職業のあっせん」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「35D01」が商品情報テーブルのなかから検索される。

【0116】

次いで、ステップS104、S158を経て、商品（役務）及びこれに対応する類似群コードが商品情報テーブルのなかから検索され、ステップS156で索出された類似群コード及びステップS104で索出された類似群コードに基づいて類似群の数が算出される。

10

【0117】

図7の例では、第1番目～第3番目、第5番目～第8番目のレコードには、役務「広告業」及び類似群コード「35A01」が、役務「トレーディングスタンプの発行」及び類似群コード「35A02」が、役務「商品の販売に関する情報の提供」及び類似群コード「35B01」が、役務「速記」及び類似群コード「35G01」が、役務「書類の複製」及び類似群コード「35G02」が、役務「コンピュータデータベースへの情報編集」及び類似群コード「35G03・42P02」が、役務「求人情報の提供」及び類似群コード「42G02」がそれぞれ登録されているので、索出された類似群コード「35K03・30A01」「35D01」との関係では、これら役務についての類似群の数はいずれも「3」として算出される。また、第11番目のレコードには、役務「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K03・32A01」が登録されているので、索出された類似群コード「35K03・30A01」「35D01」との関係では、この役務についての類似群の数は「3」として算出される。

20

【0118】

これに対し、第9番目、第10番目、第13番目～第15番目のレコードには、役務「衣料品・飲食物品及び生活用品に係る各種商品を一括して取り扱う小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K01」が、役務「かばん類及び袋物の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K02・21C01」が、役務「ヨットの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K99・12A01」が、役務「船舶用警音器の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K99・12A01」が、役務「グライダーの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K99・12A02」がそれぞれ登録されているが、これら役務についての類似群の数は最大値として算出される。

30

【0119】

なお、第4番目、第12番目のレコードには、役務「職業のあっせん」及び類似群コード「35D01」が、役務「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K03・30A01」がそれぞれ登録されているが、入力された商品（役務）1、2と一致するので、これら役務についての類似群の数は最大値として算出される。

40

【0120】

そして、ステップS108を経て、図9に示すように、算出された類似群の数が所定以下となる商品（役務）「広告業」「トレーディングスタンプの発行」「商品の販売に関する情報の提供」「速記」「書類の複製」「コンピュータデータベースへの情報編集」「求人情報の提供」「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」が表示される。

【0121】

50

次に、3つの商品（役務）を入力して検索を行う場合を説明する。

図10は、商品（役務）を検索するための検索画面である。

【0122】

ユーザは、図10に示すように、例えば、所望の商品（役務）1及び区分1として「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」「35」を、所望の商品（役務）2及び区分2として「職業のあっせん」「35」を、所望の商品（役務）3及び区分3として「求人情報の提供」「35」を入力装置40から入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップS156を経て、第35類で且つ商品（役務）1「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「35K03・30A01」が商品情報テーブルのなかから検索される。また、第35類で且つ商品（役務）2「職業のあっせん」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「35D01」が商品情報テーブルのなかから検索される。また、第35類で且つ商品（役務）3「求人情報の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「42G02」が商品情報テーブルのなかから検索される。

10

【0123】

次いで、ステップS104、S158を経て、商品（役務）及びこれに対応する類似群コードが商品情報テーブルのなかから検索され、ステップS156で索出された類似群コード及びステップS104で索出された類似群コードに基づいて類似群の数が算出される。

20

【0124】

図7の例では、第1番目～第3番目、第5番目～第7番目のレコードには、役務「広告業」及び類似群コード「35A01」が、役務「トレーディングスタンプの発行」及び類似群コード「35A02」が、役務「商品の販売に関する情報の提供」及び類似群コード「35B01」が、役務「速記」及び類似群コード「35G01」が、役務「書類の複製」及び類似群コード「35G02」が、役務「コンピュータデータベースへの情報編集」及び類似群コード「35G03・42P02」がそれぞれ登録されているので、索出された類似群コード「35K03・30A01」「35D01」「42G02」との関係では、これら役務についての類似群の数はいずれも「4」として算出される。また、第11番目のレコードには、役務「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K03・32A01」が登録されているので、索出された類似群コード「35K03・30A01」「35D01」「42G02」との関係では、この役務についての類似群の数は「4」として算出される。

30

【0125】

これに対し、第9番目、第10番目、第13番目～第15番目のレコードには、役務「衣料品・飲食物品及び生活用品に係る各種商品を一括して取り扱う小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K01」が、役務「かばん類及び袋物の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K02・21C01」が、役務「ヨットの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K99・12A01」が、役務「船舶用警音器の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K99・12A01」が、役務「グライダーの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K99・12A02」がそれぞれ登録されているが、これら役務についての類似群の数は最大値として算出される。

40

【0126】

なお、第4番目、第8番目、第12番目のレコードには、役務「職業のあっせん」及び類似群コード「35D01」が、役務「求人情報の提供」及び類似群コード「42G02

50

」が、役務「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び類似群コード「35K03・30A01」がそれぞれ登録されているが、入力された商品（役務）1～3と一致するので、これら役務についての類似群の数は最大値として算出される。

【0127】

そして、ステップS108を経て、図10に示すように、算出された類似群の数が所定以下となる商品（役務）「広告業」「トレーディングスタンプの発行」「商品の販売に関する情報の提供」「速記」「書類の複製」「コンピュータデータベースへの情報編集」「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」が表示される。

【0128】

次に、本実施の形態の効果の説明する。

本実施の形態では、複数の商品（役務）を入力し、入力した商品（役務）ごとに、その商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、商品（役務）及びこれに対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、索出した商品（役務）のうち類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）を表示する。

【0129】

これにより、複数の商品（役務）に対し、類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）が得られるので、複数の商品（役務）を所望する場合でも、権利を取得する上での障害を少なくし、現在の業務から派生する業務に係る商品（役務）を検討することができる。

【0130】

さらに、本実施の形態では、商品（役務）及びこれが属する区分を入力し、入力した区分で且つ入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索する。

【0131】

これにより、商品（役務）及びこれが属する区分により、商品情報テーブルに登録されている商品（役務）との対応関係を精度よく特定することができる。

【0132】

本実施の形態において、ステップS156は、発明1の類似群情報取得手段に対応し、ステップS158は、発明1の類似群数取得手段に対応している。

【0133】

〔第3の実施の形態〕

次に、本発明の第3の実施の形態の説明する。図11及び図12は、本実施の形態を示す図である。なお、以下、上記第1の実施の形態と異なる部分についてのみ説明し、重複する部分については同一の符号を付して説明を省略する。

【0134】

まず、CPU30で実行される処理の説明する。

CPU30は、図3のフローチャートに示す検索処理に代えて、図11のフローチャートに示す検索処理を実行する。

【0135】

図11は、検索処理を示すフローチャートである。

検索処理は、ユーザからの検索要求に応じて実行される処理であって、CPU30において実行されると、図11に示すように、まず、ステップS200に移行する。

【0136】

ステップS200では、商品（役務）の類似群コードを入力し、ステップS104を経て、ステップS202に移行して、ステップS106と同様に、ステップS200で入力した類似群コード及びステップS104で索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、ステップS108を経て、一連の処理を終了する。

10

20

30

40

50

【 0 1 3 7 】

次に、本実施の形態の動作を説明する。

図 1 2 は、商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 0 1 3 8 】

ユーザは、図 1 2 に示すように、例えば、所望の商品（役務）「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」の類似群コードとして「35K03・30A01」を入力装置 4 0 から入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップ S 1 0 4、S 2 0 2、S 1 0 8 を経て、類似群の数が所定以下となる商品（役務）が表示される。図 1 2 の例では、役務「広告業」「トレーディングスタンプの発行」「商品の販売に関する情報の提供」「職業のあっせん」「速記」「書類の複製」「コンピュータデータベースへの情報編集」「求人情報の提供」「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」が表示される。

10

【 0 1 3 9 】

次に、本実施の形態の効果の説明する。

本実施の形態では、商品（役務）の類似群コードを入力し、商品（役務）及びこれに対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、入力及び索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、索出した商品（役務）のうち類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）を表示する。

【 0 1 4 0 】

これにより、所望の商品（役務）の類似群コードに対し、類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）が得られるので、従来に比して、権利を取得する上での障害を少なくし、現在の業務から派生する業務に係る商品（役務）を検討することができる。

20

【 0 1 4 1 】

本実施の形態において、ステップ S 2 0 0 は、発明 1 の類似群情報取得手段に対応し、ステップ S 2 0 2 は、発明 1 の類似群数取得手段に対応している。

【 0 1 4 2 】

〔第 4 の実施の形態〕

次に、本発明の第 4 の実施の形態を説明する。図 1 3 及び図 1 4 は、本実施の形態を示す図である。なお、以下、上記第 1 の実施の形態と異なる部分についてのみ説明し、重複する部分については同一の符号を付して説明を省略する。

30

【 0 1 4 3 】

まず、CPU 3 0 で実行される処理を説明する。

CPU 3 0 は、図 3 のフローチャートに示す検索処理に代えて、図 1 3 のフローチャートに示す検索処理を実行する。

【 0 1 4 4 】

図 1 3 は、検索処理を示すフローチャートである。

検索処理は、ユーザからの検索要求に応じて実行される処理であって、CPU 3 0 において実行されると、図 1 3 に示すように、まず、ステップ S 1 0 0 ~ S 1 0 2 を経て、ステップ S 2 5 0 に移行する。

【 0 1 4 5 】

ステップ S 2 5 0 では、商品情報テーブルのなかから類似群コードを検索し、ステップ S 2 5 2 に移行して、ステップ S 1 0 6 と同様に、ステップ S 1 0 2 で索出した類似群コード及びステップ S 2 5 0 で索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、ステップ S 2 5 4 に移行する。

40

【 0 1 4 6 】

ステップ S 2 5 4 では、ステップ S 2 5 0 で索出した類似群コードのうちステップ S 2 5 2 で算出した類似群の数が所定値（例えば、「7」）以下となる類似群コードを表示装置 4 4 に表示し、一連の処理を終了する。

【 0 1 4 7 】

次に、本実施の形態の動作を説明する。

50

図14は、商品（役務）の類似群コードを検索するための検索画面である。

【0148】

ユーザは、図14に示すように、例えば、所望の商品（役務）として「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」を入力装置40から入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップS102、S250～S254を経て、類似群の数が所定以下となる類似群コードが表示される。図14の例では、類似群コード「35A01」「35A02」「35B01」「35D01」「35G01」「35G02」「35G03・42P02」「42G02」「35K03・32A01」が表示される。

【0149】

次に、本実施の形態の効果を説明する。

本実施の形態では、商品（役務）を入力し、入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのなかから類似群コードを検索し、索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、索出した類似群コードのうち類似群の数が所定条件を満たす類似群コードを表示する。

【0150】

これにより、所望の商品（役務）に対し、類似群の数が所定条件を満たす類似群コードが得られるので、従来に比して、権利を取得する上での障害を少なくし、現在の業務から派生する業務に係る商品（役務）を検討することができる。

【0151】

本実施の形態において、ステップS250は、発明1の商品情報検索手段に対応し、ステップS252は、発明1の類似群数取得手段に対応し、ステップS254は、発明1の商品情報出力手段に対応している。

【0152】

〔第5の実施の形態〕

次に、本発明の第5の実施の形態を説明する。図15乃至図17は、本実施の形態を示す図である。なお、以下、上記第1、第3及び第4の実施の形態と異なる部分についてのみ説明し、重複する部分については同一の符号を付して説明を省略する。

【0153】

まず、記憶装置42のデータ構造を説明する。

図15は、記憶装置42に記憶されている商品情報テーブルのデータ構造を示す図である。

【0154】

記憶装置42は、図2の商品情報テーブルに代えて、図15の商品情報テーブルを記憶している。図2の商品情報テーブルと異なるのは、商品（役務）を登録するフィールドが存在しない点である。

【0155】

次に、CPU30で実行される処理を説明する。

CPU30は、図3のフローチャートに示す検索処理に代えて、図16のフローチャートに示す検索処理を実行する。

【0156】

図16は、検索処理を示すフローチャートである。

検索処理は、ユーザからの検索要求に応じて実行される処理であって、CPU30において実行されると、図16に示すように、まず、ステップS200、S250を経て、ステップS300に移行する。

【0157】

ステップS300では、ステップS106と同様に、ステップS200で入力した類似群コード及びステップS250で索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、ステップS254を経て、一連の処理を終了する。

【0158】

10

20

30

40

50

次に、本実施の形態の動作を説明する。

図17は、商品（役務）の類似群コードを検索するための検索画面である。

【0159】

ユーザは、図17に示すように、例えば、所望の商品（役務）「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」の類似群コードとして「35K03・30A01」を入力装置40から入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップS250、S300、S254を経て、類似群の数が所定以下となる類似群コードが表示される。図17の例では、類似群コード「35A01」「35A02」「35B01」「35D01」「35G01」「35G02」「35G03・42P02」「42G02」「35K03・32A01」が表示される。

10

【0160】

次に、本実施の形態の効果の説明する。

本実施の形態では、商品（役務）の類似群コードを入力し、商品情報テーブルのなかから類似群コードを検索し、入力及び索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、索出した類似群コードのうち類似群の数が所定条件を満たす類似群コードを表示する。

【0161】

これにより、所望の商品（役務）の類似群コードに対し、類似群の数が所定条件を満たす類似群コードが得られるので、従来に比して、権利を取得する上での障害を少なくし、現在の業務から派生する業務に係る商品（役務）を検討することができる。

【0162】

本実施の形態において、ステップS300は、発明1の類似群数取得手段に対応している。

20

【0163】

〔第6の実施の形態〕

次に、本発明の第6の実施の形態を説明する。図18乃至図22は、本実施の形態を示す図である。なお、以下、上記第1及び第2の実施の形態と異なる部分についてのみ説明し、重複する部分については同一の符号を付して説明を省略する。

【0164】

まず、CPU30で実行される処理を説明する。

CPU30は、図3のフローチャートに示す検索処理に代えて、図18のフローチャートに示す検索処理を実行する。

30

【0165】

図18は、検索処理を示すフローチャートである。

検索処理は、ユーザからの検索要求に応じて実行される処理であって、CPU30において実行されると、図18に示すように、まず、ステップS100～S108を経て、ステップS110に移行する。

【0166】

ステップS110では、ステップS108で表示された商品（役務）のなかからいずれかの商品（役務）が入力装置40で選択されたか否かを判定し、商品（役務）が選択されたと判定した場合(YES)は、ステップS112に移行して、選択された商品（役務）の類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、ステップS114に移行する。

40

【0167】

ステップS114では、ステップS106と同様に、ステップS102、S112で索出した類似群コード及びステップS104で索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、ステップS108に移行する。

【0168】

一方、ステップS110で、商品（役務）が選択されないと判定した場合(NO)は、一連の処理を終了する。

【0169】

次に、本実施の形態の動作を説明する。

50

図19乃至図22は、商品（役務）を検索するための検索画面である。

【0170】

ユーザは、図19に示すように、例えば、所望の商品（役務）として「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」を入力装置40から入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップS102を経て、「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「35K03・30A01」が商品情報テーブルのなかから検索される。

【0171】

次いで、ステップS104、S106を経て、商品（役務）及びこれに対応する類似群コードが商品情報テーブルのなかから検索され、ステップS102で索出された類似群コード及びステップS104で索出された類似群コードに基づいて類似群の数が算出される。

10

【0172】

そして、ステップS108を経て、図19に示すように、算出された類似群の数が所定以下となる商品（役務）「広告業」「トレーディングスタンプの発行」「商品の販売に関する情報の提供」「職業のあっせん」「速記」「書類の複製」「コンピュータデータベースへの情報編集」「求人情報の提供」「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」が表示される。

【0173】

ここで、ユーザは、表示された商品（役務）のなかから、例えば、次に所望の商品（役務）として「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」を選択すると、ステップS112を経て、その類似群コード「35K03・32A01」が商品情報テーブルのなかから検索される。

20

【0174】

次いで、ステップS114を経て、ステップS102、S112で索出された類似群コード「35K03・30A01」「35K03・32A01」との関係では、役務「広告業」「トレーディングスタンプの発行」「商品の販売に関する情報の提供」「職業のあっせん」「速記」「書類の複製」「コンピュータデータベースへの情報編集」「求人情報の提供」についての類似群の数はいずれも「3」として算出される。

30

【0175】

そして、ステップS108を経て、図20に示すように、算出された類似群の数が所定以下となる商品（役務）「広告業」「トレーディングスタンプの発行」「商品の販売に関する情報の提供」「職業のあっせん」「速記」「書類の複製」「コンピュータデータベースへの情報編集」「求人情報の提供」が表示される。

【0176】

ここで、ユーザは、表示された商品（役務）のなかから、例えば、次に所望の商品（役務）として「職業のあっせん」を選択すると、ステップS112を経て、その類似群コード「35D01」が商品情報テーブルのなかから検索される。

【0177】

次いで、ステップS114を経て、ステップS102、S112で索出された類似群コード「35K03・30A01」「35K03・32A01」「35D01」との関係では、役務「広告業」「トレーディングスタンプの発行」「商品の販売に関する情報の提供」「速記」「書類の複製」「コンピュータデータベースへの情報編集」「求人情報の提供」についての類似群の数はいずれも「4」として算出される。

40

【0178】

そして、ステップS108を経て、図21に示すように、算出された類似群の数が所定以下となる商品（役務）「広告業」「トレーディングスタンプの発行」「商品の販売に関する情報の提供」「速記」「書類の複製」「コンピュータデータベースへの情報編集」「求人情報の提供」が表示される。

50

【0179】

ここで、ユーザは、表示された商品（役務）のなかから、例えば、次に所望の商品（役務）として「求人情報の提供」を選択すると、ステップS112を経て、その類似群コード「42G02」が商品情報テーブルのなかから検索される。

【0180】

次いで、ステップS114を経て、ステップS102、S112で索出された類似群コード「35K03・30A01」「35K03・32A01」「35D01」「42G02」との関係では、役務「広告業」「トレーディングスタンプの発行」「商品の販売に関する情報の提供」「速記」「書類の複製」「コンピュータデータベースへの情報編集」についての類似群の数はいずれも「5」として算出される。

10

【0181】

そして、ステップS108を経て、図22に示すように、算出された類似群の数が所定以下となる商品（役務）「広告業」「トレーディングスタンプの発行」「商品の販売に関する情報の提供」「速記」「書類の複製」「コンピュータデータベースへの情報編集」が表示される。

【0182】

次に、本実施の形態の効果を説明する。

本実施の形態では、表示された商品（役務）のなかからいずれかの商品（役務）が選択された場合は、選択された商品（役務）の類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、索出した商品（役務）のうち類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）を表示する。

20

【0183】

これにより、所望の商品（役務）及び得られた商品（役務）（例えば、現在の業務から派生する業務に係る一の商品（役務））に対し、さらに類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）が得られるので、権利を取得する上での障害を少なくし、現在の業務から派生する業務に係る商品（役務）をさらに検討することができる。

【0184】

本実施の形態において、ステップS112は、発明2の第2類似群情報取得手段に対応し、ステップS114は、発明2の第2類似群数取得手段に対応している。

【0185】

〔第7の実施の形態〕

次に、本発明の第7の実施の形態を説明する。図23乃至図25は、本実施の形態を示す図である。なお、以下、上記第1の実施の形態と異なる部分についてのみ説明し、重複する部分については同一の符号を付して説明を省略する。

30

【0186】

まず、記憶装置42のデータ構造を説明する。

図23は、記憶装置42に記憶されている商品情報テーブルのデータ構造を示す図である。

【0187】

記憶装置42は、図2の商品情報テーブルに代えて、図23の商品情報テーブルを記憶している。

40

【0188】

商品情報テーブルには、図23に示すように、商品（役務）ごとに1つのレコードが登録されている。各レコードは、商品（役務）を登録するフィールドと、その商品（役務）の類似群コードと、その商品（役務）の出現回数を登録するフィールドとを含んで構成されている。ここで、出現回数とは、後述する第8乃至第12の実施の形態における出現回数をいう。図23の例では、例えば、商品（役務）「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」に係る業務から派生する業務に係る商品（役務）の出現回数を登録した例を示している。

【0189】

50

次に、CPU30で実行される処理を説明する。

CPU30は、図3のフローチャートに示す検索処理に代えて、図24のフローチャートに示す検索処理を実行する。

【0190】

図24は、検索処理を示すフローチャートである。

検索処理は、ユーザからの検索要求に応じて実行される処理であって、CPU30において実行されると、図24に示すように、まず、ステップS100～S102を経て、ステップS116に移行する。

【0191】

ステップS116では、商品（役務）並びにこれに対応する類似群コード及び出現回数を商品情報テーブルのなかから検索し、ステップS118に移行して、ステップS106と同様に、ステップS102で索出した類似群コード及びステップS116で索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出する。

10

【0192】

そして、ステップS120に移行して、ステップS116で索出した商品（役務）及び出現回数のうちステップS118で算出した類似群の数が所定値（例えば、「7」）以下となる商品（役務）及び出現回数を出現回数の多い順に表示装置44に表示し、一連の処理を終了する。

【0193】

次に、本実施の形態の動作を説明する。

20

図25は、商品（役務）を検索するための検索画面である。

【0194】

ユーザは、図25に示すように、例えば、所望の商品（役務）として「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」を入力装置40から入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップS102を経て、「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「35K03・30A01」が商品情報テーブルのなかから検索される。

【0195】

次いで、ステップS116、S118を経て、商品（役務）並びにこれに対応する類似群コード及び出現回数が商品情報テーブルのなかから検索され、ステップS102で索出された類似群コード及びステップS116で索出された類似群コードに基づいて類似群の数が算出される。

30

【0196】

そして、ステップS120を経て、図25に示すように、算出された類似群の数が所定以下となる商品（役務）及び出現回数が出現回数の多い順に表示される。図25の上位3つの例では、商品（役務）「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」及び出現回数「25」が第1行目に、商品（役務）「職業のあっせん」及び出現回数「22」が第2行目に、商品（役務）「求人情報の提供」及び出現回数「18」が第3行目に表示される。

40

【0197】

次に、本実施の形態の効果の説明する。

本実施の形態では、商品（役務）を入力し、入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、商品（役務）並びにこれに対応する類似群コード及び出現回数を商品情報テーブルのなかから検索し、索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、索出した商品（役務）及び出現回数のうち類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）及び出現回数を出現回数の多い順に表示する。

【0198】

これにより、商品（役務）の出現回数に基づいて商品（役務）が表示されるので、出現

50

回数と関連して商品（役務）を検討することができる。

【0199】

本実施の形態において、ステップS116は、発明1、7若しくは8の商品情報検索手段、又は発明7若しくは8の統計情報取得手段に対応し、ステップS118は、発明1の類似群数取得手段に対応し、ステップS120は、発明1又は7の商品情報出力手段に対応している。

【0200】

〔第8の実施の形態〕

次に、本発明の第8の実施の形態を説明する。図26乃至図31は、本実施の形態を示す図である。なお、以下、上記第1の実施の形態と異なる部分についてのみ説明し、重複する部分については同一の符号を付して説明を省略する。

10

【0201】

商標登録出願においては、名義人等の業務に係る商品（役務）が指定されていると考えられるので、商標登録出願を行うにあたって指定しようとする商品（役務）に対応する商品（役務）、及び、これとは異なる他の商品（役務）が指定されている場合、この「他の商品（役務）」は、指定しようとする商品（役務）に係る業務から派生する業務に係る商品（役務）である可能性が高い。例えば、指定しようとする役務が「宿泊施設の提供」である場合、「宿泊施設の提供」及び「飲食物の提供」が指定された商標登録出願において、「飲食物の提供」は、現在の業務に係る役務「宿泊施設の提供」から派生する業務に係る役務である可能性が高い。実際、宿泊施設には、飲食店が併設されることが多い。

20

【0202】

そこで、本実施の形態は、商標登録出願において指定された商品（役務）のうちの商品（役務）、及び、商標登録出願において指定された商品（役務）のうち他の商品（役務）を対応づけて商品情報テーブルに記憶し、入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索する。そして、この検索においては、上記第1の実施の形態のように、類似群の数が所定以下となる商品（役務）に絞り込む。

【0203】

まず、記憶装置42のデータ構造を説明する。

30

図26は、記憶装置42に記憶されている商品情報テーブルのデータ構造を示す図である。

【0204】

記憶装置42は、図2の商品情報テーブルに代えて、図26に示すように、商標登録出願において指定された商品（役務）を登録する商品情報テーブルを記憶している。

【0205】

商品情報テーブルには、商標登録出願ごとに1つのレコードが登録されている。各レコードは、商標登録出願において第1番目に指定された商品（役務）1を登録するフィールドと、商品（役務）1の類似群コード（類似群コード1）を登録するフィールドと、商標登録出願において第2番目に指定された商品（役務）2を登録するフィールドと、商品（役務）2の類似群コード（類似群コード2）を登録するフィールドと、商標登録出願において第3番目に指定された商品（役務）3を登録するフィールドと、商品（役務）3の類似群コード（類似群コード3）を登録するフィールドと、商標登録出願において第4番目に指定された商品（役務）4を登録するフィールドと、商品（役務）4の類似群コード（類似群コード4）を登録するフィールドとを含んで構成されている。図26の例では、説明の簡略化のため、フィールド数を8つとしてあるが、任意の数に設定することができる。

40

【0206】

図27乃至図29は、商標登録出願の内容の一例を示す図である。

図27の例では、商標登録出願（商願2011-9999991）において、第43類

50

「宿泊施設の提供，飲食物の提供」が役務として指定されているので、商品情報テーブルの第1番目のレコードには、商品（役務）1として「宿泊施設の提供」が、商品（役務）2として「飲食物の提供」が登録される。また、これらの類似群コード1として「42A01」が、類似群コード2として「42B01」が登録される。

【0207】

図28の例では、商標登録出願（商願2011-9999992）において、第43類「宿泊施設の提供，飲食物の提供，会議室の貸与」が役務として指定されているので、商品情報テーブルの第2番目のレコードには、商品（役務）1として「宿泊施設の提供」が、商品（役務）2として「飲食物の提供」が、商品（役務）3として「会議室の貸与」が登録される。また、これらの類似群コード1として「42A01」が、類似群コード2として「42B01」が、類似群コード3として「42X10」が登録される。

10

【0208】

図29の例では、商標登録出願（商願2011-9999993）において、第43類「宿泊施設の提供，飲食物の提供，会議室の貸与」及び第44類「入浴施設の提供」が役務として指定されているので、商品情報テーブルの第3番目のレコードには、商品（役務）1として「宿泊施設の提供」が、商品（役務）2として「飲食物の提供」が、商品（役務）3として「会議室の貸与」が、商品（役務）4として「入浴施設の提供」が登録される。また、これらの類似群コード1として「42A01」が、類似群コード2として「42B01」が、類似群コード3として「42X10」が、類似群コード4として「42D01」が登録される。

20

【0209】

次に、CPU30で実行される処理を説明する。

CPU30は、図3のフローチャートに示す検索処理に代えて、図30のフローチャートに示す検索処理を実行する。

【0210】

図30は、検索処理を示すフローチャートである。

検索処理は、ユーザからの検索要求に応じて実行される処理であって、CPU30において実行されると、図30に示すように、まず、ステップS100～S102を経て、ステップS400に移行する。

【0211】

ステップS400では、ステップS100で入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）及びこれに対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、ステップS402に移行して、索出した商品（役務）について同一の内容ごとに出現回数を算出する。

30

【0212】

そして、ステップS404に移行して、ステップS106と同様に、ステップS102で索出した類似群コード及びステップS400で索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、ステップS406に移行して、ステップS400で索出した商品（役務）及びステップS402で算出した出現回数のうちステップS404で算出した類似群の数が所定値（例えば、「7」）以下となる商品（役務）及び出現回数を出現回数の多い順に表示装置44に表示し、一連の処理を終了する。

40

【0213】

次に、本実施の形態の動作を説明する。

図31は、商品（役務）を検索するための検索画面である。

【0214】

ユーザは、図31に示すように、例えば、所望の商品（役務）として「宿泊施設の提供」を入力装置40から入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップS102を経て、「宿泊施設の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「42A01」が商品情報テ

50

ブルのなかから検索される。そして、ステップS400を経て、「宿泊施設の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）及びこれに対応する類似群コードが商品情報テーブルのなかから検索される。

【0215】

図26の例では、まず、第1番目のレコードに役務「宿泊施設の提供」が登録されているので、これと同一のレコードにおいて登録されている他の役務「飲食物の提供」が索出される。同様に、第2番目のレコードにも役務「宿泊施設の提供」が登録されているので、これと同一のレコードにおいて登録されている他の役務「飲食物の提供」「会議室の貸与」が索出される。同様に、第3番目のレコードにも役務「宿泊施設の提供」が登録されているので、これと同一のレコードにおいて登録されている他の役務「飲食物の提供」「会議室の貸与」「入浴施設の提供」が索出される。また、これら役務に対応する類似群コード「42B01」「42X01」「42D01」も索出される。

10

【0216】

次いで、ステップS402を経て、索出された商品（役務）について同一の内容ごとに出現回数が算出される。索出された役務が「飲食物の提供」「飲食物の提供」「会議室の貸与」「飲食物の提供」「会議室の貸与」「入浴施設の提供」であるので、「飲食物の提供」の出現回数が「3」、「会議室の貸与」の出現回数が「2」、「入浴施設の提供」の出現回数が「1」として算出される。

【0217】

次いで、ステップS404を経て、ステップS102で索出された類似群コード「42A01」との関係では、役務「飲食物の提供」「会議室の貸与」「入浴施設の提供」についての類似群の数はいずれも「2」として算出される。

20

【0218】

そして、ステップS406を経て、図31に示すように、算出された類似群の数が所定以下となる商品（役務）及び出現回数が出現回数の多い順に表示される。図31の例では、「飲食物の提供」の出現回数が最も多いので、「飲食物の提供」及び件数「3」が第1行目に表示される。「会議室の貸与」の出現回数が次に多いので、「会議室の貸与」及び件数「2」が第2行目に表示される。「入浴施設の提供」の出現回数が最も少ないので、「入浴施設の提供」及び件数「1」が第3行目に表示される。

30

【0219】

次に、本実施の形態の効果を説明する。

本実施の形態では、商品（役務）を入力し、入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）及びこれに対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、索出した商品（役務）について同一の内容ごとに出現回数を算出し、索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、索出した商品（役務）及び算出した出現回数のうち類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）及び出現回数を出現回数の多い順に表示する。

40

【0220】

これにより、所望の商品（役務）に係る業務から派生する業務に係る商品（役務）が得られるので、従来に比して、現在の業務から派生する業務に係る商品（役務）を検討することができる。

【0221】

また、本実施の形態では、索出した商品（役務）について同一の内容ごとに出現回数を算出し、索出した商品（役務）及び出現回数を出現回数の多い順に表示する。

【0222】

これにより、派生する業務に係る商品（役務）の出現回数に基づいて商品（役務）が表

50

示されるので、出現回数と関連して商品（役務）を検討することができる。

【0223】

本実施の形態において、ステップS400は、発明1、7又は8の商品情報検索手段に対応し、ステップS402は、発明7又は8の統計情報取得手段に対応し、ステップS404は、発明1の類似群数取得手段に対応し、ステップS406は、発明1又は7の商品情報出力手段に対応している。

【0224】

〔第9の実施の形態〕

次に、本発明の第9の実施の形態を説明する。図32乃至図37は、本実施の形態を示す図である。なお、以下、上記第2及び第8の実施の形態と異なる部分についてのみ説明し、重複する部分については同一の符号を付して説明を省略する。

10

【0225】

まず、記憶装置42のデータ構造を説明する。

図32は、記憶装置42に記憶されている商品情報テーブルのデータ構造を示す図である。

【0226】

記憶装置42は、図26の商品情報テーブルに代えて、図32の商品情報テーブルを記憶している。

【0227】

商品情報テーブルには、商標登録出願ごとに1つのレコードが登録されている。各レコードは、出願番号を登録するフィールドと、商品（役務）1を登録するフィールドと、商品（役務）1が属する区分（区分1）を登録するフィールドと、商品（役務）1の類似群コード（類似群コード1）を登録するフィールドと、商品（役務）2を登録するフィールドと、商品（役務）2が属する区分（区分2）を登録するフィールドと、商品（役務）2の類似群コード（類似群コード2）を登録するフィールドと、商品（役務）3を登録するフィールドと、商品（役務）3が属する区分（区分3）を登録するフィールドと、商品（役務）3の類似群コード（類似群コード3）を登録するフィールドと、商品（役務）4を登録するフィールドと、商品（役務）4が属する区分（区分4）を登録するフィールドと、商品（役務）4の類似群コード（類似群コード4）を登録するフィールドとを含んで構成されている。

20

30

【0228】

商標登録出願（商願2011-9999991）において、第43類「宿泊施設の提供，飲食物の提供」が役務として指定されているので、商品情報テーブルの第1番目のレコードには、出願番号として「2011-9999991」が、商品（役務）1として「宿泊施設の提供」が、商品（役務）2として「飲食物の提供」が登録される。また、これらが属する区分1、2として「43」が登録される。さらに、これらの類似群コード1として「42A01」が、類似群コード2として「42B01」が登録される。

【0229】

商標登録出願（商願2011-9999992）において、第43類「宿泊施設の提供，飲食物の提供，会議室の貸与」が役務として指定されているので、商品情報テーブルの第2番目のレコードには、出願番号として「2011-9999992」が、商品（役務）1として「宿泊施設の提供」が、商品（役務）2として「飲食物の提供」が、商品（役務）3として「会議室の貸与」が登録される。また、これらが属する区分1～3として「43」が登録される。さらに、これらの類似群コード1として「42A01」が、類似群コード2として「42B01」が、類似群コード3として「42X10」が登録される。

40

【0230】

商標登録出願（商願2011-9999993）において、第43類「宿泊施設の提供，飲食物の提供，会議室の貸与」及び第44類「入浴施設の提供」が役務として指定されているので、商品情報テーブルの第3番目のレコードには、出願番号として「2011-9999993」が、商品（役務）1として「宿泊施設の提供」が、商品（役務）2とし

50

て「飲食物の提供」が、商品（役務）3として「会議室の貸与」が、商品（役務）4として「入浴施設の提供」が登録される。また、これらが属する区分1～3として「43」が、区分4として「44」が登録される。さらに、これらの類似群コード1として「42A01」が、類似群コード2として「42B01」が、類似群コード3として「42X10」が、類似群コード4として「42D01」が登録される。

【0231】

商標登録出願（商願2011-9999994）において、第43類「宿泊施設の提供、会議室の貸与」が役務として指定されているので、商品情報テーブルの第4番目のレコードには、出願番号として「2011-9999994」が、商品（役務）1として「宿泊施設の提供」が、商品（役務）2として「会議室の貸与」が登録される。また、これらが属する区分1、2として「43」が登録される。さらに、これらの類似群コード1として「42A01」が、類似群コード2として「42X10」が登録される。

10

【0232】

商標登録出願（商願2011-9999995）において、第43類「宿泊施設の提供、飲食物の提供」が役務として指定されているので、商品情報テーブルの第5番目のレコードには、出願番号として「2011-9999995」が、商品（役務）1として「宿泊施設の提供」が、商品（役務）2として「飲食物の提供」が登録される。また、これらが属する区分1、2として「43」が登録される。さらに、これらの類似群コード1として「42A01」が、類似群コード2として「42B01」が登録される。

20

【0233】

商標登録出願（商願2011-9999996）において、第43類「宿泊施設の提供、飲食物の提供、会議室の貸与」及び第45類「婚礼のための施設の提供」が役務として指定されているので、商品情報テーブルの第6番目のレコードには、出願番号として「2011-9999996」が、商品（役務）1として「宿泊施設の提供」が、商品（役務）2として「飲食物の提供」が、商品（役務）3として「会議室の貸与」が、商品（役務）4として「婚礼のための施設の提供」が登録される。また、これらが属する区分1～3として「43」が、区分4として「45」が登録される。さらに、これらの類似群コード1として「42A01」が、類似群コード2として「42B01」が、類似群コード3として「42X10」が、類似群コード4として「42H02」が登録される。

30

【0234】

図33は、記憶装置42に記憶されている書誌情報テーブルのデータ構造を示す図である。

【0235】

記憶装置42は、さらに、図33に示すように、商標登録出願に関する書誌情報テーブルを記憶している。

【0236】

書誌情報テーブルには、商標登録出願ごとに1つのレコードが登録されている。各レコードは、出願番号を登録するフィールドと、検索用の商標を登録するフィールドと、商標の称呼を登録するフィールドと、出願人を登録するフィールドと、出願日を登録するフィールドと、代理人を登録するフィールドとを含んで構成されている。その他、例えば、（1）法区分（版）・類、（2）書換登録申請番号、（3）国際登録番号、（4）書換登録申請日又は国際登録日（事後指定日）、（5）公開日、（6）公告番号、（7）公告日、（8）登録番号、（9）登録日（国際登録の場合は国内登録日）、（10）登録公報発行日、（11）存続期間満了日、（12）名義人、書換申請者に関する情報（氏名又は名称、住所又は居所、識別番号、名義人等が法人にあっては企業情報（例えば、業種、設立年月日、株式上場の有無、資本金、売上高、利益、従業員数））、（13）代理人に関する情報（氏名又は名称、住所又は居所、識別番号、代理人が法人にあっては企業情報（例えば、業種、設立年月日、株式上場の有無、資本金、売上高、利益、従業員数））、（14）異議申立人に関する情報（氏名又は名称、住所又は居所、識別番号、異議申立人が法人にあっては企業情報（例えば、業種、設立年月日、株式上場の有無、資本金、売上高、利

40

50

益、従業員数))、(15) 審判番号、(16) 拒絶査定発送日、(17) 最終処分日を登録することもできる。

【0237】

次に、CPU30で実行される処理を説明する。

CPU30は、図30のフローチャートに示す検索処理に代えて、図34のフローチャートに示す検索処理を実行する。

【0238】

図34は、検索処理を示すフローチャートである。

検索処理は、ユーザからの検索要求に応じて実行される処理であって、CPU30において実行されると、図34に示すように、まず、ステップS450に移行する。

10

【0239】

ステップS450では、商品(役務)1及びこれが属する区分1又は類似群コード1を入力し、ステップS452に移行して、商品(役務)2及びこれが属する区分2又は類似群コード2を入力し、ステップS454に移行して、商品(役務)3及びこれが属する区分3又は類似群コード3を入力し、ステップS456に移行する。ここで、商品(役務)1~3のいずれか1つは必須の入力項目であり、商品(役務)1~3の他のもの並びに区分1~3及び類似群コード1~3は任意の入力項目である。

【0240】

ステップS456では、商標登録出願に関する第1の絞込条件(絞込条件1)を入力し、ステップS458に移行して、商標登録出願に関する第2の絞込条件(絞込条件2)を入力し、ステップS460に移行して、商標登録出願に関する第3の絞込条件(絞込条件3)を入力し、ステップS462に移行する。ここで、絞込条件1~3は任意の入力項目である。

20

【0241】

ステップS462では、ステップS156と同様に、入力した商品(役務)1~3ごとに、その商品(役務)と一致する商品(役務)を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、ステップS464に移行する。

【0242】

ステップS464では、入力した絞込条件1~3のすべてに対応する商標登録出願で、且つ、入力した商品(役務)1~3のすべてが指定された商標登録出願について、入力した商品(役務)1~3と一致する商品(役務)を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品(役務)及びこれに対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索する。具体的な検索方法は、次のとおりである。

30

【0243】

1つの商品(役務)を入力した場合(例えば、商品(役務)1を入力した場合は、商品(役務)1と一致する商品(役務)を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品(役務)を商品情報テーブルのなかから検索する。2つの商品(役務)を入力した場合(例えば、商品(役務)1、2を入力した場合は、商品(役務)1と一致する商品(役務)、及び商品(役務)2と一致する商品(役務)が登録されているレコードを商品情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている他の商品(役務)を商品情報テーブルのなかから検索する。3つの商品(役務)を入力した場合(例えば、商品(役務)1~3を入力した場合は、商品(役務)1と一致する商品(役務)、商品(役務)2と一致する商品(役務)、及び商品(役務)3と一致する商品(役務)が登録されているレコードを商品情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている他の商品(役務)を商品情報テーブルのなかから検索する。

40

【0244】

区分を入力した場合(例えば、商品(役務)1及び区分1を入力した場合は、区分1

50

で且つ商品（役務）1と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索する。類似群コードを入力した場合（例えば、商品（役務）1及び類似群コード1を入力した場合は、類似群コード1で且つ商品（役務）1と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索する。区分及び類似群コードを入力した場合（例えば、商品（役務）1、区分1及び類似群コード1を入力した場合は、区分1及び類似群コード1で且つ商品（役務）1と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索する。

10

【0245】

1つの絞込条件を入力した場合（例えば、絞込条件1を入力した場合は、絞込条件1に対応する書誌情報を書誌情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象とする。2つの絞込条件を入力した場合（例えば、絞込条件1、2を入力した場合は、絞込条件1に対応する書誌情報、及び絞込条件2に対応する書誌情報が登録されているレコードを書誌情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象とする。3つの絞込条件を入力した場合（例えば、絞込条件1～3を入力した場合は、絞込条件1に対応する書誌情報、絞込条件2に対応する書誌情報、及び絞込条件3に対応する書誌情報が登録されているレコードを書誌情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象とする。

20

【0246】

次いで、ステップS466に移行して、索出した商品（役務）について同一の内容ごとに出現回数を算出する。

【0247】

そして、ステップS468に移行して、ステップS106と同様に、ステップS462で索出した類似群コード及びステップS464で索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、ステップS470に移行して、ステップS464で索出した商品（役務）及び類似群コード並びにステップS466で算出した出現回数のうちステップS468で算出した類似群の数が所定値（例えば、「7」）以下となる商品（役務）、出現回数及び類似群コードを出現回数の多い順に表示装置44に表示し、一連の処理を終了する。

30

【0248】

次に、本実施の形態の動作を説明する。

まず、1つの商品（役務）を入力して検索を行う場合を説明する。

【0249】

図35は、商品（役務）を検索するための検索画面である。

40

ユーザは、図35に示すように、例えば、所望の商品（役務）1として「宿泊施設の提供」を、その区分及び類似群コードとして「43」及び「42A01」を入力装置40から入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップS462を経て、第43類で且つ商品（役務）1「宿泊施設の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「42A01」が商品情報テーブルのなかから検索される。そして、ステップS464を経て、第43類で類似群コードが「42A01」となる「宿泊施設の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）及びこれに対応する類似群コードが商品情報テーブルのなかから検索される。

【0250】

50

図32の例では、まず、第1番目のレコードに役務「宿泊施設の提供」が登録されているので、これと同一のレコードにおいて登録されている他の役務「飲食物の提供」が索出される。同様に、第2番目のレコードから「飲食物の提供」「会議室の貸与」が、第3番目のレコードから「飲食物の提供」「会議室の貸与」「入浴施設の提供」が、第4番目のレコードから「会議室の貸与」が、第5番目のレコードから「飲食物の提供」が、第6番目のレコードから「飲食物の提供」「会議室の貸与」「婚礼のための施設の提供」が索出される。また、これら役務に対応する類似群コード「42B01」「42X01」「42D01」「42H02」も索出される。

【0251】

次いで、ステップS466を経て、索出された商品(役務)について同一の内容ごとに出現回数が算出される。索出された役務が「飲食物の提供」「飲食物の提供」「会議室の貸与」「飲食物の提供」「会議室の貸与」「入浴施設の提供」「会議室の貸与」「飲食物の提供」「飲食物の提供」「会議室の貸与」「婚礼のための施設の提供」であるので、「飲食物の提供」の出現回数が「5」、「会議室の貸与」の出現回数が「4」、「入浴施設の提供」の出現回数が「1」、「婚礼のための施設の提供」の出現回数が「1」として算出される。

【0252】

次いで、ステップS468を経て、ステップS462で索出された類似群コード「42A01」との関係では、役務「飲食物の提供」「会議室の貸与」「入浴施設の提供」「婚礼のための施設の提供」についての類似群の数はいずれも「2」として算出される。

【0253】

そして、ステップS470を経て、図35に示すように、算出された類似群の数が所定以下となる商品(役務)、出現回数及び類似群コードが出現回数の多い順に表示される。図35の例では、「飲食物の提供」の出現回数が最も多いので、「飲食物の提供」、件数「5」、「43」及び「42B01」が第1行目に表示される。「会議室の貸与」の出現回数が次に多いので、「会議室の貸与」、件数「4」、「43」及び「42X10」が第2行目に表示される。「入浴施設の提供」「婚礼のための施設の提供」の出現回数が最も少ないので、「入浴施設の提供」、件数「1」、「44」及び「42D01」が第3行目に、「婚礼のための施設の提供」、件数「1」、「45」及び「42H02」が第4行目に表示される。出現回数が同一の商品(役務)については、例えば、入力した商品(役務)と同一の又は近い区分に属するものを上位に表示してもよいし、入力した商品(役務)と同一の又は近い類似群コードに係る類似群に属するものを上位に表示してもよい。

【0254】

絞込条件については、例えば、出願人を「商標株式会社」と設定した絞込条件1を入力すると、図32及び図33の例では、出願番号「2011-9999991」「2011-9999992」「2011-9999993」が出願人「商標株式会社」の商標登録出願であるので、これが検索対象となる。図32の例では、まず、第1番目のレコードに役務「宿泊施設の提供」が登録されているので、これと同一のレコードにおいて登録されている他の役務「飲食物の提供」が索出される。同様に、第2番目のレコードから「飲食物の提供」「会議室の貸与」が、第3番目のレコードから「飲食物の提供」「会議室の貸与」「入浴施設の提供」が索出される。そして、索出された役務が「飲食物の提供」「飲食物の提供」「会議室の貸与」「飲食物の提供」「会議室の貸与」「入浴施設の提供」であるので、「飲食物の提供」及び件数「3」が第1行目に、「会議室の貸与」及び件数「2」が第2行目に、「入浴施設の提供」及び件数「1」が第3行目に表示される。これにより、出願人が「商標株式会社」である商標登録出願に係る商品(役務)が得られるので、例えば、特定企業の出願傾向を参考にすることができる。

【0255】

次に、2つの商品(役務)を入力して検索を行う場合を説明する。

図36は、商品(役務)を検索するための検索画面である。

【0256】

ユーザは、図36に示すように、例えば、所望の商品（役務）1として「宿泊施設の提供」を、その区分及び類似群コードとして「43」及び「42A01」を、所望の商品（役務）2として「飲食物の提供」を、その区分及び類似群コードとして「43」及び「42B01」を入力装置40から入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップS462を経て、第43類で且つ商品（役務）1「宿泊施設の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「42A01」が商品情報テーブルのなかから検索される。また、第43類で且つ商品（役務）2「飲食物の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「42B01」が商品情報テーブルのなかから検索される。そして、ステップS464を経て、第43類で類似群コードが「42A01」となる「宿泊施設の提供」と一致する商品（役務）、及び、第43類で類似群コードが「42B01」となる「飲食物の提供」と一致する商品（役務）が登録されているレコードが商品情報テーブルのなかから検索され、そのレコードにおいて登録されている他の商品（役務）及びこれに対応する類似群コードが商品情報テーブルのなかから検索される。

10

【0257】

図32の例では、まず、第2番目のレコードに役務「宿泊施設の提供」「飲食物の提供」が登録されているので、これと同一のレコードにおいて登録されている他の役務「会議室の貸与」が索出される。同様に、第3番目のレコードから「会議室の貸与」「入浴施設の提供」が、第6番目のレコードから「会議室の貸与」「婚礼のための施設の提供」が索出される。また、これら役務に対応する類似群コード「42X01」「42D01」「42H02」も索出される。

20

【0258】

次いで、ステップS466を経て、索出された商品（役務）について同一の内容ごとに出現回数が算出される。索出された役務が「会議室の貸与」「会議室の貸与」「入浴施設の提供」「会議室の貸与」「婚礼のための施設の提供」であるので、「会議室の貸与」の出現回数が「3」、「入浴施設の提供」の出現回数が「1」、「婚礼のための施設の提供」の出現回数が「1」として算出される。

【0259】

次いで、ステップS468を経て、ステップS462で索出された類似群コード「42A01」「42B01」との関係では、役務「会議室の貸与」「入浴施設の提供」「婚礼のための施設の提供」についての類似群の数はいずれも「3」として算出される。

30

【0260】

そして、ステップS470を経て、図36に示すように、算出された類似群の数が所定以下となる商品（役務）、出現回数及び類似群コードが出現回数の多い順に表示される。図36の例では、「会議室の貸与」の出現回数が最も多いので、「会議室の貸与」、件数「3」、「43」及び「42X10」が第1行目に表示される。「入浴施設の提供」「婚礼のための施設の提供」の出現回数が最も少ないので、「入浴施設の提供」、件数「1」、「44」及び「42D01」が第2行目に、「婚礼のための施設の提供」、件数「1」、「45」及び「42H02」が第3行目に表示される。出現回数が同一の商品（役務）についての表示優先度は、上記同様である。

40

【0261】

絞込条件については、例えば、出願日を「2011/12/26~2011/12/28」と設定した絞込条件1を入力すると、図32及び図33の例では、出願番号「2011-9999991」「2011-9999992」「2011-9999993」が出願日「2011/12/26~2011/12/28」の商標登録出願であるので、これが検索対象となる。図32の例では、まず、第2番目のレコードに役務「宿泊施設の提供」「飲食物の提供」が登録されているので、これと同一のレコードにおいて登録されている他の役務「会議室の貸与」が索出される。同様に、第3番目のレコードから「会議室の貸与」「入浴施設の提供」が索出される。そして、索出された役務が「会議室の貸与」「

50

会議室の貸与」「入浴施設の提供」であるので、「会議室の貸与」及び件数「2」が第1行目に、「入浴施設の提供」及び件数「1」が第2行目に表示される。これにより、出願日が「2011/12/26～2011/12/28」である商標登録出願に係る商品（役務）が得られるので、例えば、特定期間の出願傾向を参考にすることができる。

【0262】

次に、3つの商品（役務）を入力して検索を行う場合を説明する。

図37は、商品（役務）を検索するための検索画面である。

【0263】

ユーザは、図37に示すように、例えば、所望の商品（役務）1として「宿泊施設の提供」を、その区分及び類似群コードとして「43」及び「42A01」を、所望の商品（役務）2として「飲食物の提供」を、その区分及び類似群コードとして「43」及び「42B01」を、所望の商品（役務）3として「会議室の貸与」を、その区分及び類似群コードとして「43」及び「42X10」を入力装置40から入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップS462を経て、第43類で且つ商品（役務）1「宿泊施設の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「42A01」が商品情報テーブルのなかから検索される。また、第43類で且つ商品（役務）2「飲食物の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「42B01」が商品情報テーブルのなかから検索される。また、第43類で且つ商品（役務）3「会議室の貸与」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「42X10」が商品情報テーブルのなかから検索される。そして、ステップS464を経て、第43類で類似群コードが「42A01」となる「宿泊施設の提供」と一致する商品（役務）、第43類で類似群コードが「42B01」となる「飲食物の提供」と一致する商品（役務）、及び、第43類で類似群コードが「42X10」となる「会議室の貸与」と一致する商品（役務）が登録されているレコードが商品情報テーブルのなかから検索され、そのレコードにおいて登録されている他の商品（役務）及びこれに対応する類似群コードが商品情報テーブルのなかから検索される。

【0264】

図32の例では、まず、第3番目のレコードに役務「宿泊施設の提供」「飲食物の提供」「会議室の貸与」が登録されているので、これと同一のレコードにおいて登録されている他の役務「入浴施設の提供」が索出される。同様に、第6番目のレコードから「婚礼のための施設の提供」が索出される。また、これら役務に対応する類似群コード「42D01」「42H02」も索出される。

【0265】

次いで、ステップS466を経て、索出された商品（役務）について同一の内容ごとに出現回数が算出される。索出された役務が「入浴施設の提供」「婚礼のための施設の提供」であるので、「入浴施設の提供」の出現回数が「1」、「婚礼のための施設の提供」の出現回数が「1」として算出される。

【0266】

次いで、ステップS468を経て、ステップS462で索出された類似群コード「42A01」「42B01」「42X10」との関係では、役務「入浴施設の提供」「婚礼のための施設の提供」についての類似群の数はいずれも「4」として算出される。

【0267】

そして、ステップS470を経て、図37に示すように、算出された類似群の数が所定以下となる商品（役務）、出現回数及び類似群コードが出現回数の多い順に表示される。図37の例では、「入浴施設の提供」「婚礼のための施設の提供」の出現回数が最も多いので、「入浴施設の提供」、件数「1」、「44」及び「42D01」が第1行目に、「婚礼のための施設の提供」、件数「1」、「45」及び「42H02」が第2行目に表示される。出現回数が同一の商品（役務）についての表示優先度は、上記同様である。

10

20

30

40

50

【0268】

絞込条件については、例えば、代理人を「代理太郎」と設定した絞込条件1を入力すると、図32及び図33の例では、出願番号「2011-9999991」「2011-9999992」「2011-9999993」が代理人「代理太郎」の商標登録出願であるので、これが検索対象となる。図32の例では、第3番目のレコードに役務「宿泊施設の提供」「飲食物の提供」「会議室の貸与」が登録されているので、これと同一のレコードにおいて登録されている他の役務「入浴施設の提供」が索出される。そして、索出された役務が「入浴施設の提供」であるので、「入浴施設の提供」及び件数「1」が第1行目に表示される。これにより、代理人が「代理太郎」である商標登録出願に係る商品（役務）が得られるので、例えば、特定代理人の出願傾向を参考にすることができる。

10

【0269】

次に、本実施の形態の効果の説明する。

本実施の形態では、商品（役務）を入力し、入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）及びこれに対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、索出した商品（役務）について同一の内容ごとに出現回数を算出し、索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、索出した商品（役務）及び算出した出現回数のうち類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）及び出現回数を出現回数の多い順に表示する。

20

【0270】

これにより、所望の商品（役務）に係る業務から派生する業務に係る商品（役務）が得られるので、従来に比して、現在の業務から派生する業務に係る商品（役務）を検討することができる。

【0271】

また、本実施の形態では、商品（役務）及びこれが属する区分又は類似群コードを入力し、入力した区分又は類似群コードで且つ入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索する。

30

【0272】

これにより、商品（役務）及びこれが属する区分又は類似群コードにより、商品情報テーブルに登録されている商品（役務）との対応関係を精度よく特定することができる。

【0273】

また、本実施の形態では、少なくとも2つの商品（役務）を入力し、入力した一の商品（役務）と一致する商品（役務）、及び入力した他の商品（役務）と一致する商品（役務）が登録されているレコードを商品情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている他の商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索する。

【0274】

これにより、少なくとも2つの商品（役務）の両方に対応する商標登録出願について商品（役務）が検索されるので、派生する業務に適合する可能性がより高い商品（役務）が得られる。

40

【0275】

また、本実施の形態では、絞込条件を入力し、絞込条件に対応する書誌情報を書誌情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象とする。すなわち、絞込条件に対応する商標登録出願を検索対象とする。

【0276】

これにより、絞込条件に対応する出願傾向を参考にすることができる。

50

また、本実施の形態では、少なくとも2つの絞込条件を入力し、入力した一の絞込条件に対応する書誌情報、及び入力した他の絞込条件に対応する書誌情報が登録されているレコードを書誌情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象とする。すなわち、少なくとも2つの絞込条件の両方に対応する商標登録出願を検索対象とする。

【0277】

これにより、少なくとも2つの絞込条件の両方に対応する出願傾向を参考にすることができる。

【0278】

さらに、本実施の形態では、商品（役務）及びこれが属する区分を入力し、入力した区分で且つ入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索する。

【0279】

これにより、商品（役務）及びこれが属する区分により、商品情報テーブルに登録されている商品（役務）との対応関係を精度よく特定することができる。

【0280】

本実施の形態において、ステップS462は、発明1の類似群情報取得手段に対応し、ステップS464は、発明1、7又は8の商品情報検索手段に対応し、ステップS466は、発明7又は8の統計情報取得手段に対応し、ステップS468は、発明1の類似群数取得手段に対応している。また、ステップS470は、発明1又は7の商品情報出力手段に対応している。

【0281】

〔第10の実施の形態〕

次に、本発明の第10の実施の形態を説明する。図38及び図39は、本実施の形態を示す図である。なお、以下、上記第8の実施の形態と異なる部分についてのみ説明し、重複する部分については同一の符号を付して説明を省略する。

【0282】

まず、CPU30で実行される処理を説明する。

CPU30は、図30のフローチャートに示す検索処理に代えて、図38のフローチャートに示す検索処理を実行する。

【0283】

図38は、検索処理を示すフローチャートである。

検索処理は、ユーザからの検索要求に応じて実行される処理であって、CPU30において実行されると、図38に示すように、まず、ステップS500に移行する。

【0284】

ステップS500では、商品（役務）の類似群コードを入力し、ステップS502に移行して、ステップS400と同様に、入力した類似群コードに対応する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）及びこれに対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、ステップS504に移行して、索出した商品（役務）について同一の内容ごとに出現回数を算出する。

【0285】

そして、ステップS506に移行して、ステップS404と同様に、ステップS500で入力した類似群コード及びステップS502で索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、ステップS508に移行して、ステップS502で索出した商品（役務）及びステップS504で算出した出現回数のうちステップS506で算出した類似群の数が所定値（例えば、「7」）以下となる商品（役務）及び出現回数を出現回数の多い順に表示装置44に表示し、一連の処理を終了する。

10

20

30

40

50

【 0 2 8 6 】

次に、本実施の形態の動作を説明する。

図 3 9 は、商品（役務）を検索するための検索画面である。

【 0 2 8 7 】

ユーザは、図 3 9 に示すように、例えば、所望の商品（役務）の類似群コードとして「4 2 A 0 1」を入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップ S 5 0 2 ~ S 5 0 8 を経て、類似群の数が所定以下となる商品（役務）及び出現回数が出現回数の多い順に表示される。図 3 9 の例では、「飲食物の提供」の出現回数が最も多いので、「飲食物の提供」及び件数「3」が第 1 行目に表示される。「会議室の貸与」の出現回数が次に多いので、「会議室の貸与」及び件数「2」が第 2 行目に表示される。「入浴施設の提供」の出現回数が最も少ないので、「入浴施設の提供」及び件数「1」が第 3 行目に表示される。

10

【 0 2 8 8 】

次に、本実施の形態の効果を説明する。

本実施の形態では、商品（役務）の類似群コードを入力し、入力した類似群コードに対応する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）及びこれに対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、索出した商品（役務）について同一の内容ごとに出現回数を算出し、入力及び索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、索出した商品（役務）及び算出した出現回数のうち類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）及び出現回数を出現回数の多い順に表示する。

20

【 0 2 8 9 】

これにより、所望の商品（役務）に係る業務から派生する業務に係る商品（役務）が得られるので、従来に比して、現在の業務から派生する業務に係る商品（役務）を検討することができる。

【 0 2 9 0 】

本実施の形態において、ステップ S 5 0 0 は、発明 1 の類似群情報取得手段に対応し、ステップ S 5 0 2 は、発明 1、7 又は 8 の商品情報検索手段に対応し、ステップ S 5 0 4 は、発明 7 又は 8 の統計情報取得手段に対応し、ステップ S 5 0 6 は、発明 1 の類似群数取得手段に対応している。また、ステップ S 5 0 8 は、発明 1 又は 7 の商品情報出力手段に対応している。

30

【 0 2 9 1 】

〔第 1 1 の実施の形態〕

次に、本発明の第 1 1 の実施の形態を説明する。図 4 0 及び図 4 1 は、本実施の形態を示す図である。なお、以下、上記第 8 の実施の形態と異なる部分についてのみ説明し、重複する部分については同一の符号を付して説明を省略する。

【 0 2 9 2 】

まず、CPU 3 0 で実行される処理を説明する。

CPU 3 0 は、図 3 0 のフローチャートに示す検索処理に代えて、図 4 0 のフローチャートに示す検索処理を実行する。

【 0 2 9 3 】

図 4 0 は、検索処理を示すフローチャートである。

40

検索処理は、ユーザからの検索要求に応じて実行される処理であって、CPU 3 0 において実行されると、図 4 0 に示すように、まず、ステップ S 1 0 0、S 1 0 2 を経て、ステップ S 5 5 0 に移行する。

【 0 2 9 4 】

ステップ S 5 5 0 では、ステップ S 1 0 0 で入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）に対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、ステップ S 5 5 2 に移行して、索出した類似群コードについて同一の内容ごとに出現回数を算出する。

50

【 0 2 9 5 】

そして、ステップ S 5 5 4 に移行して、ステップ S 1 0 6 と同様に、ステップ S 1 0 2、S 5 5 0 で索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、ステップ S 5 5 6 に移行して、ステップ S 5 5 0 で索出した類似群コード及びステップ S 5 5 2 で算出した出現回数のうちステップ S 5 5 4 で算出した類似群の数が所定値（例えば、「7」）以下となる類似群コード及び出現回数を出現回数の多い順に表示装置 4 4 に表示し、一連の処理を終了する。

【 0 2 9 6 】

次に、本実施の形態の動作を説明する。

図 4 1 は、商品（役務）の類似群コードを検索するための検索画面である。

10

【 0 2 9 7 】

ユーザは、図 4 1 に示すように、例えば、所望の商品（役務）として「宿泊施設の提供」を入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップ S 1 0 2、S 5 5 0 ~ S 5 5 6 を経て、類似群の数が所定以下となる類似群コード及び出現回数が出現回数の多い順に表示される。図 4 1 の例では、「4 2 B 0 1」の出現回数が最も多いので、「4 2 B 0 1」及び件数「3」が第 1 行目に表示される。「4 2 X 1 0」の出現回数が次に多いので、「4 2 X 1 0」及び件数「2」が第 2 行目に表示される。「4 2 D 0 1」の出現回数が最も少ないので、「4 2 D 0 1」及び件数「1」が第 3 行目に表示される。

【 0 2 9 8 】

次に、本実施の形態の効果の説明する。

20

本実施の形態では、商品（役務）を入力し、入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）に対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、索出した類似群コードについて同一の内容ごとに出現回数を算出し、索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、索出した類似群コード及び算出した出現回数のうち類似群の数が所定条件を満たす類似群コード及び出現回数を出現回数の多い順に表示する。

【 0 2 9 9 】

30

これにより、所望の商品（役務）に係る業務から派生する業務に係る商品（役務）が得られるので、従来に比して、現在の業務から派生する業務に係る商品（役務）を検討することができる。

【 0 3 0 0 】

また、本実施の形態では、索出した類似群コードについて同一の内容ごとに出現回数を算出し、索出した類似群コード及び出現回数を出現回数の多い順に表示する。

【 0 3 0 1 】

これにより、派生する業務に係る商品（役務）の類似群コードの出現回数に基づいて類似群コードが表示されるので、出現回数と関連して商品（役務）を検討することができる。

40

【 0 3 0 2 】

本実施の形態において、ステップ S 5 5 0 は、発明 1、7 又は 8 の商品情報検索手段に対応し、ステップ S 5 5 2 は、発明 7 又は 8 の統計情報取得手段に対応し、ステップ S 5 5 4 は、発明 1 の類似群数取得手段に対応し、ステップ S 5 5 6 は、発明 1 又は 7 の商品情報出力手段に対応している。

【 0 3 0 3 】

〔第 1 2 の実施の形態〕

次に、本発明の第 1 2 の実施の形態を説明する。図 4 2 乃至図 4 4 は、本実施の形態を示す図である。なお、以下、上記第 8、第 1 0 及び第 1 1 の実施の形態と異なる部分についてのみ説明し、重複する部分については同一の符号を付して説明を省略する。

50

【0304】

まず、記憶装置42のデータ構造を説明する。

図42は、記憶装置42に記憶されている商品情報テーブルのデータ構造を示す図である。

【0305】

記憶装置42は、図26の商品情報テーブルに代えて、図42の商品情報テーブルを記憶している。

【0306】

商品情報テーブルには、商標登録出願ごとに1つのレコードが登録されている。各レコードは、商品(役務)1の類似群コード(類似群コード1)を登録するフィールドと、商品(役務)2の類似群コード(類似群コード2)を登録するフィールドと、商品(役務)3の類似群コード(類似群コード3)を登録するフィールドと、商品(役務)4の類似群コード(類似群コード4)を登録するフィールドとを含んで構成されている。

10

【0307】

商標登録出願(商願2011-9999991)において、第43類「宿泊施設の提供, 飲食物の提供」が役務として指定されているので、商品情報テーブルの第1番目のレコードには、これらの類似群コード1として「42A01」が、類似群コード2として「42B01」が登録される。

【0308】

商標登録出願(商願2011-9999992)において、第43類「宿泊施設の提供, 飲食物の提供, 会議室の貸与」が役務として指定されているので、商品情報テーブルの第2番目のレコードには、これらの類似群コード1として「42A01」が、類似群コード2として「42B01」が、類似群コード3として「42X10」が登録される。

20

【0309】

商標登録出願(商願2011-9999993)において、第43類「宿泊施設の提供, 飲食物の提供, 会議室の貸与」及び第44類「入浴施設の提供」が役務として指定されているので、商品情報テーブルの第3番目のレコードには、これらの類似群コード1として「42A01」が、類似群コード2として「42B01」が、類似群コード3として「42X10」が、類似群コード4として「42D01」が登録される。

【0310】

次に、CPU30で実行される処理を説明する。

CPU30は、図30のフローチャートに示す検索処理に代えて、図43のフローチャートに示す検索処理を実行する。

30

【0311】

図43は、検索処理を示すフローチャートである。

検索処理は、ユーザからの検索要求に応じて実行される処理であって、CPU30において実行されると、図43に示すように、まず、ステップS500を経て、ステップS600に移行する。

【0312】

ステップS600では、ステップS550と同様に、入力した類似群コードと一致する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、ステップS602に移行して、索出した類似群コードについて同一の内容ごとに出現回数を算出する。

40

【0313】

そして、ステップS604に移行して、ステップS106と同様に、ステップS500で入力した類似群コード及びステップS600で索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、ステップS606に移行して、ステップS600で索出した類似群コード及びステップS602で算出した出現回数のうちステップS604で算出した類似群の数が所定値(例えば、「7」)以下となる類似群コード及び出現回数を出現回数の多い順に表示装置44に表示し、一連の処理を終了する。

50

【0314】

次に、本実施の形態の動作を説明する。

図44は、商品（役務）の類似群コードを検索するための検索画面である。

【0315】

ユーザは、図44に示すように、例えば、所望の商品（役務）の類似群コードとして「42A01」を入力し、検索ボタンをクリックすると、ステップS600～S606を経て、類似群の数が所定以下となる類似群コード及び出現回数が出現回数の多い順に表示される。図44の例では、「42B01」の出現回数が最も多いので、「42B01」及び件数「3」が第1行目に表示される。「42X10」の出現回数が次に多いので、「42X10」及び件数「2」が第2行目に表示される。「42D01」の出現回数が最も少ないので、「42D01」及び件数「1」が第3行目に表示される。

10

【0316】

次に、本実施の形態の効果を説明する。

本実施の形態では、商品（役務）の類似群コードを入力し、入力した類似群コードと一致する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、入力した類似群コードと一致する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、索出した類似群コードについて同一の内容ごとに出現回数を算出し、索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、索出した類似群コード及び算出した出現回数のうち類似群の数が所定条件を満たす類似群コード及び出現回数を出現回数の多い順に表示する。

20

【0317】

これにより、所望の商品（役務）に係る業務から派生する業務に係る商品（役務）が得られるので、従来に比して、現在の業務から派生する業務に係る商品（役務）を検討することができる。

【0318】

本実施の形態において、ステップS600は、発明1、7又は8の商品情報検索手段に対応し、ステップS602は、発明7又は8の統計情報取得手段に対応し、ステップS604は、発明1の類似群数取得手段に対応し、ステップS606は、発明1又は7の商品情報出力手段に対応している。

30

【0319】

〔変形例1〕

上記第1及び第2の実施の形態においては、商品（役務）ごとに検索及び表示を行ったが、これに限らず、商品（役務）の組み合わせごとに検索及び表示を行うこともできる。

【0320】

図45は、商品（役務）を検索するための検索画面である。

ユーザは、図45に示すように、例えば、所望の商品（役務）として「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」を入力装置40から入力し、検索ボタンをクリックすると、「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と一致する商品（役務）が商品情報テーブルのなかから検索され、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コード「35K03・30A01」が商品情報テーブルのなかから検索される。

40

【0321】

次いで、商品（役務）の組み合わせ及びこれらに対応する類似群コードが商品情報テーブルのなかから検索され、索出された類似群コード「35K03・30A01」及び商品（役務）の組み合わせについて索出された類似群コードに基づいて類似群の数が算出される。

【0322】

そして、図45に示すように、算出された類似群の数が所定以下となる商品（役務）の組み合わせが表示される。図45の例では、「菓子及びパンの小売又は卸売の業務におい

50

て行われる顧客に対する便益の提供」「役務 A 1」「役務 A 2」「役務 A 3」「役務 A 4」「商品 A 5」「商品 A 6」の類似群の数が所定以下となるので、第 1 行目には、商品（役務）の組み合わせとして「役務 A 1」「役務 A 2」「役務 A 3」「役務 A 4」「商品 A 5」「商品 A 6」が表示される。また、「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」「役務 B 1」「役務 B 2」「役務 B 3」「商品 B 4」の類似群の数が所定以下となるので、第 2 行目には、商品（役務）の組み合わせとして「役務 B 1」「役務 B 2」「役務 B 3」「商品 B 4」が表示される。また、「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」「役務 C 1」「役務 C 2」の類似群の数が所定以下となるので、第 3 行目には、商品（役務）の組み合わせとして「役務 C 1」「役務 C 2」が表示される。第 4 行目～第 6 行目も同様である。

10

【 0 3 2 3 】

ここで、商品（役務）の組み合わせは、例えば、組み合わせ中の各商品（役務）に対応する出現回数を合計し、出現回数の合計が高い順に表示することができる。また例えば、組み合わせ中の商品（役務）の類似範囲（例えば、組み合わせ中の各商品（役務）に対応する類似群コードのユニーク数）を求め、類似範囲が広い順に表示することもできる。また例えば、組み合わせ中の商品（役務）の数が多い順に表示することもできる。

【 0 3 2 4 】

また、商品（役務）の組み合わせは、例えば、上記第 7 乃至第 1 2 の実施の形態のように、入力した商品（役務）と関連性の高い商品（役務）を組み合わせることにより構成することができる。商品（役務）の組み合わせは、予め設定しておいてもよいし、動的に決定してもよい。

20

【 0 3 2 5 】

この変形例は、上記第 3 乃至第 1 2 の実施の形態及びその変形例にも同様に適用することもできる。例えば、類似群コードを表示する構成では、類似群の数が所定以下となる商品（役務）の組み合わせの類似群コードを表示する。

【 0 3 2 6 】

〔変形例 2〕

上記第 1 及び第 2 の実施の形態並びにその変形例においては、類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）を表示したが、これに限らず、類似群の数が所定条件を満たし且つ商品（役務）の類似範囲が最も広くなる商品（役務）を表示することもできる。商品（役務）の類似範囲は、例えば、索出した類似群コードのユニーク数によって判定する。類似群コードのユニーク数が多いほど類似範囲が広いということができる。

30

【 0 3 2 7 】

これにより、権利を取得する上での障害を少なくし、類似範囲が最も広くなる商品（役務）を検討することができる。

【 0 3 2 8 】

この変形例は、上記第 3 乃至第 1 2 の実施の形態及びその変形例にも同様に適用することもできる。例えば、類似群コードを表示する構成では、類似群の数が所定条件を満たし且つ商品（役務）の類似範囲が最も広くなる類似群コードを表示する。

【 0 3 2 9 】

〔変形例 3〕

上記第 1 及び第 2 の実施の形態並びにその変形例においては、類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）を表示したが、これに限らず、商品（役務）を所定態様で表示することもできる。具体的には、例えば、次の 3 つの構成を採用することができる。

40

【 0 3 3 0 】

第 1 の構成は、入力した商品（役務）と組み合わせた場合に類似群の数が増加する商品（役務）を所定態様で表示する。ここで、所定態様で表示する構成としては、例えば、類似群の数が増加する商品（役務）に特定の色、マークその他の区別を付する構成、類似群の数が増加する商品（役務）を優先的（例えば、上位）に表示する構成、類似群の数が増加する商品（役務）だけを表示する構成を採用することができる。以下、第 2 及び第 3 の

50

構成において同じである。

【0331】

第2の構成は、入力した商品（役務）と組み合わせた場合に類似群の数が増減しない商品（役務）を所定態様で表示する。

【0332】

第3の構成は、入力した商品（役務）と組み合わせた場合に類似群の数が減少する商品（役務）を所定態様で表示する。類似群の数が減少する例としては、例えば、商品「電気通信機械器具」「電子計算機用プログラム」を入力した場合、類似群コードはそれぞれ「11B01」「11C01」であるので、この組み合わせでの類似群の数は「2」であるところ、商品「記録済み及び未記録のビデオカセットテープ、DVD、オーディオディスク及びコンパクトディスク」は、類似群コードが「09G53・11B01・11C01・24A01・24E01・24E02・26A01・26D01」であるので、商品「電気通信機械器具」「電子計算機用プログラム」「記録済み及び未記録のビデオカセットテープ、DVD、オーディオディスク及びコンパクトディスク」を組み合わせると、類似群の数は「1」になり、減少する。

10

【0333】

これにより、入力した商品（役務）と組み合わせた場合に類似群の数が増加する商品（役務）、類似群の数が増減しない商品（役務）、又は類似群の数が減少する商品（役務）を把握することができる。

【0334】

この変形例は、上記第3乃至第12の実施の形態及びその変形例にも同様に適用することもできる。例えば、類似群コードを表示する構成では、類似群の数が増加する類似群コード、類似群の数が増減しない類似群コード、又は類似群の数が減少する類似群コードを所定態様で表示する。

20

【0335】

〔変形例4〕

上記第1及び第2の実施の形態並びにその変形例においては、類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）を表示したが、これに限らず、類似群の数が多い順又は少ない順に商品（役務）を表示することもできる。例えば、ユーザが降順ソートを要求した場合は、類似群の数が多い順に商品（役務）を表示し、ユーザが昇順ソートを要求した場合は、類似群の数が少ない順に商品（役務）を表示する。

30

【0336】

これにより、入力した商品（役務）と組み合わせた場合に類似群の数が多い商品（役務）又は類似群の数が少ない商品（役務）を優先的に得ることができる。

【0337】

この変形例は、上記第3乃至第12の実施の形態及びその変形例にも同様に適用することもできる。例えば、類似群コードを表示する構成では、類似群の数が多い順又は少ない順に類似群コードを表示する。

【0338】

〔その他の変形例〕

また、上記第1乃至第12の実施の形態及びその変形例においては、単一の装置である出願支援装置100として実現したが、これに限らず、図46に示すように、ネットワークシステムとして実現することもできる。

40

【0339】

図46は、ネットワークシステムの構成を示すブロック図である。

インターネット等のネットワーク199には、図46に示すように、出願支援サーバ200と、複数のユーザ端末300とが接続されている。出願支援サーバ200は、上記第1乃至第12の実施の形態における出願支援装置100と同等の機能を有して構成されている。異なるのは、入力装置40による入力に代えてユーザ端末300から情報を受信する点と、表示装置44による表示に代えてユーザ端末300に情報を送信する点である。

50

【0340】

また、上記第1乃至第12の実施の形態及びその変形例においては、運用基準に従って「所定条件」を定めたが、これに限らず、法改正等により運用基準の内容に変更があった場合は、変更後の運用基準に従って「所定条件」を定めることができる。

【0341】

また、上記第8及び第9の実施の形態並びにその変形例においては、索出した商品（役務）について同一の内容ごとに出現回数を算出し、索出した商品（役務）及び出現回数を出現回数の多い順に表示したが、これに限らず、例えば、表示された出現回数をクリックすると、その出現回数の算出の基礎となった商標登録出願に関する書誌情報その他の出願情報を表示することもできる。この変形例は、上記第10乃至第12の実施の形態及びその変形例にも同様に適用することもできる。

10

【0342】

また、上記第9の実施の形態及びその変形例を、上記第10乃至第12の実施の形態及びその変形例に適用することもできる。

【0343】

上記第10の実施の形態及びその変形例に適用した場合、商品（役務）の類似群コードを入力し、入力した類似群コードに対応する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、索出した商品（役務）を表示する。また、索出した商品（役務）について同一の内容ごとに出現回数を算出し、索出した商品（役務）及び出現回数を出現回数の多い順に表示する。また、商品（役務）及びこれが属する区分又は類似群コードを入力し、入力した区分又は類似群コードで且つ入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索する。また、少なくとも2つの類似群コードを入力し、入力した一の類似群コードに対応する商品（役務）、及び入力した他の類似群コードに対応する商品（役務）が登録されているレコードを商品情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている他の商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索する。また、絞込条件を入力し、絞込条件に対応する書誌情報を書誌情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象とする。また、少なくとも2つの絞込条件を入力し、入力した一の絞込条件に対応する書誌情報、及び入力した他の絞込条件に対応する書誌情報が登録されているレコードを書誌情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象とする。

20

30

【0344】

上記第11の実施の形態及びその変形例に適用した場合、商品（役務）を入力し、入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）に対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、索出した類似群コードを表示する。また、索出した類似群コードについて同一の内容ごとに出現回数を算出し、索出した類似群コード及び出現回数を出現回数の多い順に表示する。また、商品（役務）及びこれが属する区分又は類似群コードを入力し、入力した区分又は類似群コードで且つ入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）に対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索する。また、少なくとも2つの商品（役務）を入力し、入力した一の商品（役務）と一致する商品（役務）、及び入力した他の商品（役務）と一致する商品（役務）が登録されているレコードを商品情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている他の商品（役務）に対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索する。ま

40

50

た、絞込条件を入力し、絞込条件に対応する書誌情報を書誌情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象とする。また、少なくとも2つの絞込条件を入力し、入力した一の絞込条件に対応する書誌情報、及び入力した他の絞込条件に対応する書誌情報が登録されているレコードを書誌情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象とする。

【0345】

上記第12の実施の形態及びその変形例に適用した場合、商品（役務）の類似群コードを入力し、入力した類似群コードと一致する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、索出した類似群コードを表示する。また、索出した類似群コードについて同一の内容ごとに出現回数を算出し、索出した類似群コード及び出現回数を出現回数の多い順に表示する。また、少なくとも2つの類似群コードを入力し、入力した一の類似群コードと一致する類似群コード、及び入力した他の類似群コードと一致する類似群コードが登録されているレコードを商品情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている他の類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索する。また、絞込条件を入力し、絞込条件に対応する書誌情報を書誌情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象とする。また、少なくとも2つの絞込条件を入力し、入力した一の絞込条件に対応する書誌情報、及び入力した他の絞込条件に対応する書誌情報が登録されているレコードを書誌情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象とする。

【0346】

これと同様に、上記第2の実施の形態及びその変形例を、上記第3乃至第7の実施の形態及びその変形例に適用することもできる。

【0347】

また、上記第6及び第7の実施の形態及びその変形例を、上記第8乃至第12の実施の形態及びその変形例に適用することもできる。その他、上記第1乃至第12の実施の形態及びその変形例を相互に適用することもできる。

【0348】

また、上記第8の実施の形態及びその変形例においては、入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている「他の商品（役務）」を検索したが、これに限らず、例えば、入力した商品（役務）を一部に含む商品（役務）を検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている「他の商品（役務）」を検索することもできる。また、入力した文字（商品（役務））を少なくとも2つの文字部分に分離し、一の文字部分と他の文字部分を含む商品（役務）を検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている「他の商品（役務）」を検索することもできる。このように複数の文字部分に分離する場合、完全一致検索、フレーズ一致検索、部分一致検索、絞込部分一致検索、除外検索（1又は複数の文字部分を含まない要素を検索）等の公知の検索方法を採用することができる。その他、入力した商品（役務）に対応する商品（役務）を介して、入力した商品（役務）に対応する「他の商品（役務）」を検索することができる。ここで、入力した商品（役務）と、商品（役務）とを対応させる方法としては、例えば、入力した商品（役務）に対応するコードと、商品（役務）に対応するコードとの一致を判定するなど、中間に1又は複数の情報を介して行ってもよい。この概念は、上記第

10

20

30

40

50

1乃至第12の実施の形態及びその変形例における「情報Aに対応する情報Bを検索」する方法にすべて適用することができる。

【0349】

また、上記第8乃至第12の実施の形態及びその変形例においては、一致検索を行ったが、これに限らず、除外検索を行うこともできる。具体的な検索方法は、次のとおりである。上記第8及び第9の実施の形態並びにその変形例においては、例えば、入力した商品（役務）とは一致しない商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索する。上記第10の実施の形態及びその変形例においては、例えば、入力した類似群コードに対応しない商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索する。上記第11の実施の形態及びその変形例においては、例えば、入力した商品（役務）とは一致しない商品（役務）に対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索する。上記第12の実施の形態及びその変形例においては、例えば、入力した類似群コードとは一致しない類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索する。

10

【0350】

また、上記第9の実施の形態及びその変形例においては、絞込条件を入力し、絞込条件に対応する書誌情報を書誌情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象としたが、これに限らず、除外検索を行うこともできる。具体的な検索方法は、次のとおりである。絞込条件を入力し、絞込条件に対応しない書誌情報を書誌情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象とする。また、少なくとも2つの絞込条件を入力し、入力した一の絞込条件に対応しない書誌情報、及び入力した他の絞込条件に対応しない書誌情報が登録されているレコードを書誌情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象とする。

20

【0351】

また、上記第8の実施の形態及びその変形例においては、索出した商品（役務）について同一の内容ごとに出現回数を算出したが、これに限らず、例えば、索出した商品（役務）について所定の分類ごとに出現回数を算出することもできる。所定の分類としては、例えば、「菓子」という一つの分類を規定し、「和菓子」「洋菓子」が索出された場合は、「菓子」の出現回数を「2」として算出する。その他、索出した商品（役務）の統計情報を取得することもできる。統計情報としては、出現回数のほか、例えば、出現率、順位、差分、分散、標準誤差、標準偏差、偏差値、平均値、中央値、最頻値、尖度、歪度、最小値、最大値その他の統計量が考えられる。また、統計情報に代えて、優先度、評価値その他の指標を用いることもできる。この変形例は、上記第9乃至第12の実施の形態及びその変形例にも同様に適用することもできる。

30

【0352】

また、上記第8乃至第10の実施の形態及びその変形例においては、索出した商品（役務）及び出現回数を出現回数の多い順に表示したが、これに限らず、例えば、索出した商品（役務）及び出現回数を出現回数の少ない順に表示することもできる。出現回数を表示しなくてもよい。この変形例は、上記第11及び第12の実施の形態並びにその変形例にも同様に適用することもできる。

40

【0353】

また、上記第1乃至第3の実施の形態及びその変形例においては、索出した商品（役務）を表示したが、これに限らず、索出した商品（役務）を包括する上位概念の商品（役務）を表示してもよいし、索出した商品（役務）に包括される下位概念の商品（役務）を表示してもよい。入力についても同様である。この変形例は、上記第4乃至第12の実施の

50

形態及びその変形例にも同様に適用することもできる。

【0354】

また、上記第9の実施の形態及びその変形例においては、商品（役務）1～3のいずれか1つを必須の入力項目としたが、商品（役務）1～3をすべて任意の入力項目とすることもできる。この場合、区分又は類似群コードのみを入力すると、入力した区分又は類似群コードが設定された商標登録出願を検索対象とする。

【0355】

また、上記第9の実施の形態及びその変形例においては、少なくとも2つの商品（役務）を入力し、AND検索を行ったが、これに限らず、OR検索を行うこともできる。具体的な検索方法は、次のとおりである。商品（役務）1と一致する商品（役務）、又は商品（役務）2と一致する商品（役務）が登録されているレコードを商品情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている他の商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索する。上記第2、第6及び第7の実施の形態並びにその変形例についても同様である。

【0356】

また、上記第9の実施の形態及びその変形例においては、少なくとも2つの絞込条件を入力し、AND検索を行ったが、これに限らず、OR検索を行うこともできる。具体的な検索方法は、次のとおりである。絞込条件1に対応する書誌情報、又は絞込条件2に対応する書誌情報が登録されているレコードを書誌情報テーブルのなかから検索し、そのレコードにおいて登録されている出願番号を書誌情報テーブルのなかから検索し、商品情報テーブルのレコードのうち、索出した出願番号と同一の出願番号が登録されているレコードを検索対象とする。

【0357】

また、上記第9の実施の形態及びその変形例においては、商品（役務）及びこれが属する区分又は類似群コードを入力し、入力した区分又は類似群コードで且つ入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）を検索したが、これに限らず、入力した区分若しくは類似群コードに対応する商品（役務）、又は入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索することもできる。

【0358】

また、上記第9の実施の形態及びその変形例においては、商品（役務）が属するグループとして区分又は類似群コードを採用したが、これに限らず、他の分類によるグループを採用することもできる。

【0359】

また、上記第10乃至第12の実施の形態及びその変形例においては、商品（役務）が属するグループとして類似群コードを採用したが、これに限らず、区分又は他の分類によるグループを採用することもできる。この場合、入力するグループと、出力するグループは、同一とすることもできるし、異ならせることもできる。同一とする例は、上記第12の実施の形態のように、類似群コードを入力し、類似群コードを出力するものであるが、異ならせる例は、上記第12の実施の形態において、例えば、類似群コードを入力し、区分を出力するものである。上記第4及び第5の実施の形態並びにその変形例についても同様に、表示する商品（役務）の類似群コードを、区分又は他の分類によるグループとすることができる。

【0360】

また、上記第8、第10及び第11の実施の形態並びにその変形例においては、図26の商品情報テーブルを用いて構成したが、これに限らず、図26の商品情報テーブルに類似群コードを登録せず、図2の商品情報テーブルを設け、これら2つの商品情報テーブルを用いて構成することもできる。

【0361】

また、上記第12の実施の形態及びその変形例においては、入力した類似群コードと一致する類似群コードを検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の類似群コードを検索したが、これに限らず、図26の商品情報テーブルを用いて、入力した類似群コードに対応する商品(役務)の商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている他の商品(役務)に対応する類似群コードの商品情報テーブルのなかから検索することもできる。この変形例は、上記第5の実施の形態及びその変形例にも同様に適用することもできる。

【0362】

また、上記第8の実施の形態及びその変形例においては、商標登録出願において指定された商品(役務)のうちの商品(役務)、及び、商標登録出願において指定された商品(役務)のうち他の商品(役務)を対応づけて記憶したが、これに限らず、次の構成を採用することもできる。

【0363】

第1の構成は、商標登録出願において指定された商品(役務)、及び、前記商標登録出願の名義人の他の商標登録出願、若しくは、前記名義人と同一若しくは類似の業種に属する者の商標登録出願において指定された商品(役務)を対応づけて記憶する。

【0364】

第2の構成は、商標登録出願における関連性に依存することなく、第1の商品(役務)、及び、第1の商品(役務)に係る業務から派生する業務に係る第2の商品(役務)を対応づけて記憶する。その他、第1の商品(役務)、及び、第2の商品(役務)を対応づけて記憶することができる。

【0365】

この変形例は、上記第9乃至第12の実施の形態及びその変形例にも同様に適用することもできる。

【0366】

また、上記第8の実施の形態及びその変形例においては、商標登録出願において指定された商品(役務)のうちの商品(役務)、及び、商標登録出願において指定された商品(役務)のうち他の商品(役務)を対応づけて記憶したが、これに限らず、一の商品(役務)、及び、他の商品(役務)を包括する上位概念の商品(役務)を対応づけて記憶することもできる。また、一の商品(役務)、及び、他の商品(役務)に包括される下位概念の商品(役務)を対応づけて記憶することもできる。この変形例は、上記第9乃至第12の実施の形態及びその変形例にも同様に適用することもできる。

【0367】

また、上記第8乃至第12の実施の形態及びその変形例においては、商標登録出願において指定された商品(役務)の商品情報テーブルに登録したが、これに限らず、商標登録出願において指定された商品(役務)の商品情報テーブルに登録することもできる。

【0368】

また、上記第8乃至第12の実施の形態及びその変形例においては、出現回数を算出したが、これに限らず、上記第7の実施の形態のように、出現回数をテーブル等に記憶しておき、テーブル等から検索することもできる。

【0369】

また、上記第9の実施の形態及びその変形例において、類似群コードが入力される場合は、ステップS462で類似群コードを検索せず、入力した類似群コードを用いることもできる。また、上記第9の実施の形態のように入力と検索を行う構成であっても、入力した類似群コードと、索出した類似群コードが一致しない場合は、索出した類似群コードの方を用いるという構成を採用することもできる。

【0370】

また、上記第1乃至第12の実施の形態及びその変形例においては、類似群の数を算出したが、これに限らず、上記第7の実施の形態における出現回数のように、類似群の数をテーブル等に登録しておき、類似群の数をテーブル等から検索することもできる。この1

10

20

30

40

50

つの具体例としては、例えば、類似群の数を求める対象となる２以上の類似群コードに対してハッシュ関数等による演算を行って得られる情報と、その類似群コードに基づいて算出された類似群の数とを対応づけてテーブル等に登録しておき、検索時は、入力した商品（役務）の類似群コード及び索出された商品（役務）の類似群コードに対しハッシュ関数等による演算を行い、演算により得られた情報に対応する類似群の数をテーブル等から検索する。これにより、複雑な判断処理を行わずに類似群の数を取得することができるので、検索処理の高速化を図ることができる。その他、類似群の数については、入力、獲得、受信、生成その他の取得方法を採用することができる。

【 0 3 7 1 】

また、上記第 8 乃至第 1 2 の実施の形態及びその変形例においては、出現回数を算出したが、これに限らず、出現回数については、上記第 7 の実施の形態における検索のほか、入力、獲得、受信、生成その他の取得方法を採用することができる。

10

【 0 3 7 2 】

また、上記第 6 の実施の形態においては、商品（役務）の選択ごとに検索を行わなかったが、これに限らず、商品（役務）の選択ごとに検索を行ってもよい。

【 0 3 7 3 】

また、上記第 1 乃至第 1 2 の実施の形態及びその変形例においては、検索結果を表示したが、これに限らず、検索結果に基づいてファイルを生産（生成）することもできる。また、その他の方法で出力することもできる。

【 0 3 7 4 】

20

また、上記第 1 乃至第 1 2 の実施の形態及びその変形例においては、商標登録出願を支援する場合について本発明を適用したが、これに限らず、本発明の主旨を逸脱しない範囲で他の場合にも適用可能である。

【符号の説明】

【 0 3 7 5 】

1 0 0 ... 出願支援装置、 3 0 ... CPU、 3 2 ... ROM、 3 4 ... RAM、 3 8 ... I / F、 3 9 ... バス、 4 0 ... 入力装置、 4 2 ... 記憶装置、 4 4 ... 表示装置、 2 0 0 ... 出願支援サーバ、 3 0 0 ... ユーザ端末、 1 9 9 ... ネットワーク

【要約】

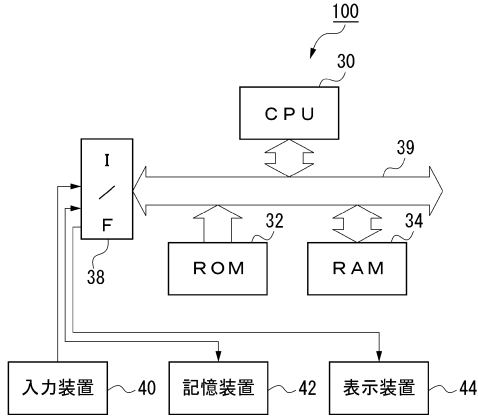
【課題】 権利を取得する上での障害を少なくし、現在の業務から派生する業務に係る商品又は役務を検討することができる商標支援システムを提供する。

30

【解決手段】 出願支援装置 1 0 0 は、商品（役務）を入力し、入力した商品（役務）と一致する商品（役務）を商品情報テーブルのなかから検索し、これと同一のレコードにおいて登録されている類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、商品（役務）及びこれに対応する類似群コードを商品情報テーブルのなかから検索し、索出した類似群コードに基づいて類似群の数を算出し、索出した商品（役務）のうち類似群の数が所定条件を満たす商品（役務）を表示する。

【選択図】 図 3

【図1】



【図2】

| | |
|---|-------------|
| 広告業 | 35A01 |
| トレーディングスタンプの発行 | 35A02 |
| 商品の販売に関する情報の提供 | 35B01 |
| 職業のあっせん | 35D01 |
| 速記 | 35G01 |
| 書類の複製 | 35G02 |
| コンピュータデータベースへの情報編集 | 35G03・42P02 |
| 求人情報の提供 | 42G02 |
| 衣料品・飲食品及び生活用品に係る各種商品を一括して取り扱う小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35K01 |
| かばん類及び袋物の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35K02・21C01 |
| 食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35K03・32A01 |
| 菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35K03・30A01 |
| ヨットの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35K99・12A01 |
| 船舶用警告器の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35K99・12A01 |
| グライターの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35K99・12A02 |

【図4】

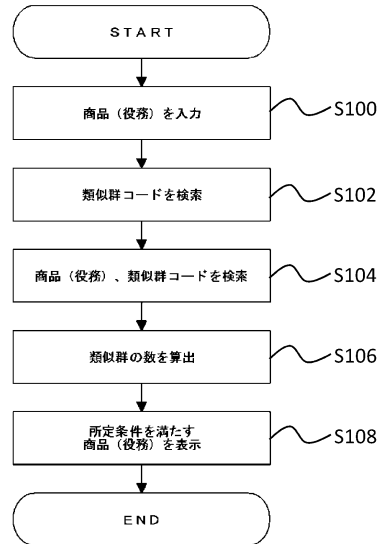
商品(役務)を入力してください。

商品(役務):

「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と同時に指定可能な商品(役務)は、次のとおりです。

- 【商品(役務)】
- ・広告業
 - ・トレーディングスタンプの発行
 - ・商品の販売に関する情報の提供
 - ・職業のあっせん
 - ・速記
 - ・書類の複製
 - ・コンピュータデータベースへの情報編集
 - ・求人情報の提供
 - ・食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供

【図3】



【図5】

商品(役務)を入力してください。

商品(役務):

「ヨットの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と同時に指定可能な商品(役務)は、次のとおりです。

- 【商品(役務)】
- ・広告業
 - ・トレーディングスタンプの発行
 - ・商品の販売に関する情報の提供
 - ・職業のあっせん
 - ・速記
 - ・書類の複製
 - ・コンピュータデータベースへの情報編集
 - ・求人情報の提供
 - ・船舶用警告器の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供

【図6】

商品(役務)を入力してください。

商品(役務):

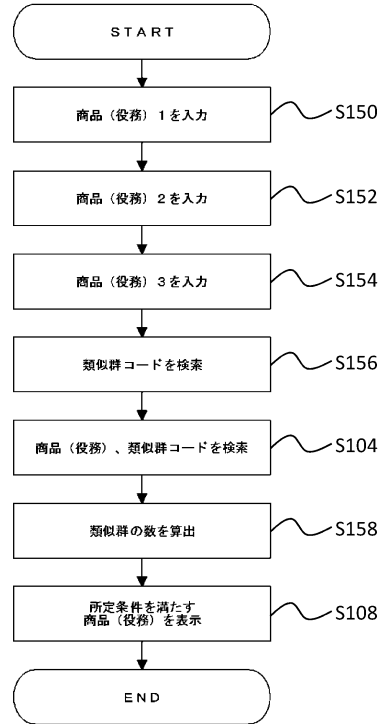
「衣料品・飲食品及び生活用品に係る各種商品を一括して取り扱う小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と同時に指定可能な商品(役務)は、次のとおりです。

- 【商品(役務)】

【 図 7 】

| | | |
|---|----|-------------|
| 広告業 | 35 | 35A01 |
| トレーディングスタンプの発行 | 35 | 35A02 |
| 商品の販売に関する情報の提供 | 35 | 35B01 |
| 職業のあっせん | 35 | 35D01 |
| 速記 | 35 | 35G01 |
| 書類の複製 | 35 | 35G02 |
| コンピュータデータベースへの情報編集 | 35 | 35G03-42P02 |
| 求人情報の提供 | 35 | 42G02 |
| 衣料品・飲食品及び生活用品に係る各種商品を一括して取り扱う小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35 | 35K01 |
| かばん類及び袋物の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35 | 35K02-21C01 |
| 食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35 | 35K03-32A01 |
| 菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35 | 35K03-30A01 |
| ヨットの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35 | 35K99-12A01 |
| 船舶用音響器の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35 | 35K99-12A01 |
| グライダーの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35 | 35K99-12A02 |

【 図 8 】



【 図 9 】

商品（役務）を入力してください。

| | | | |
|-------------------------------------|-----|--|----|
| 商品（役務）: | 区分: | | |
| 菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35 | | |
| 職業のあっせん | 35 | | |
| | | | 検索 |

「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」「職業のあっせん」と同時に指定可能な商品（役務）は、次のとおりです。

【商品（役務）】

- ・広告業
- ・トレーディングスタンプの発行
- ・商品の販売に関する情報の提供
- ・速記
- ・書類の複製
- ・コンピュータデータベースへの情報編集
- ・求人情報の提供
- ・食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供

【 図 10 】

商品（役務）を入力してください。

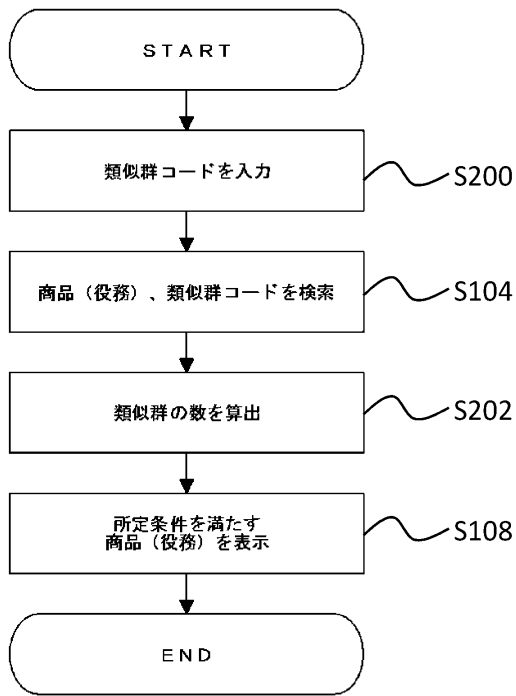
| | | | |
|-------------------------------------|-----|--|----|
| 商品（役務）: | 区分: | | |
| 菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35 | | |
| 職業のあっせん | 35 | | |
| 求人情報の提供 | 35 | | 検索 |

「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」「職業のあっせん」「求人情報の提供」と同時に指定可能な商品（役務）は、次のとおりです。

【商品（役務）】

- ・広告業
- ・トレーディングスタンプの発行
- ・商品の販売に関する情報の提供
- ・速記
- ・書類の複製
- ・コンピュータデータベースへの情報編集
- ・食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供

【図 1 1】



【図 1 2】

商品(役務)の類似群コードを入力してください。

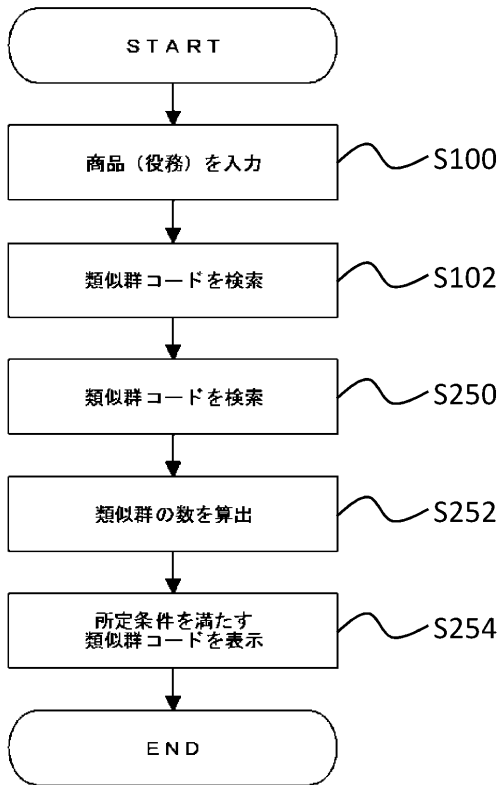
類似群コード:

「35K03 30A01」の商品(役務)と同時に指定可能な商品(役務)は、次のとおりです。

【商品(役務)】

- ・広告業
- ・トレーディングスタンプの発行
- ・商品の販売に関する情報の提供
- ・職業のあつせん
- ・速記
- ・書類の複製
- ・コンピュータデータベースへの情報編集
- ・求人情報の提供
- ・食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供

【図 1 3】



【図 1 4】

商品(役務)を入力してください。

商品(役務):

「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と同時に指定可能な商品(役務)の類似群コードは、次のとおりです。

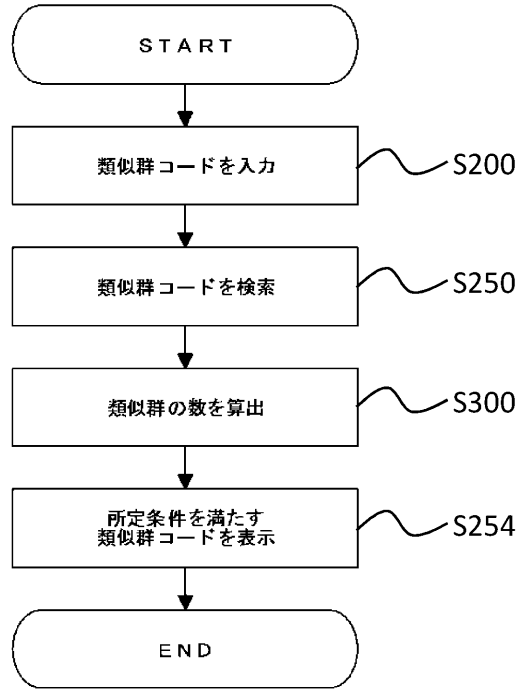
【類似群コード】

- ・35A01
- ・35A02
- ・35B01
- ・35D01
- ・35G01
- ・35G02
- ・35G03 42P02
- ・42G02
- ・35K03 32A01

【図15】

| |
|-------------|
| 35A01 |
| 35A02 |
| 35B01 |
| 35D01 |
| 35G01 |
| 35G02 |
| 35G03・42P02 |
| 42G02 |
| 35K01 |
| 35K02・21C01 |
| 35K03・32A01 |
| 35K03・30A01 |
| 35K99・12A01 |
| 35K99・12A01 |
| 35K99・12A02 |

【図16】



【図17】

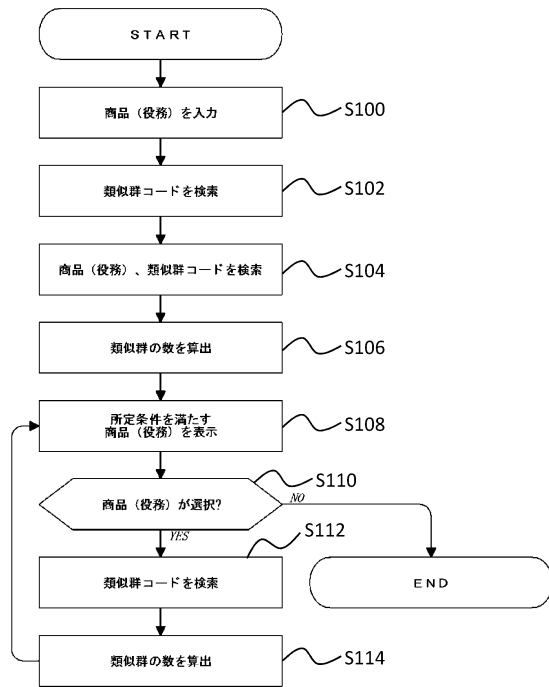
商品(役務)の類似群コードを入力してください。

類似群コード:

「35K03 30A01」の商品(役務)と同時に指定可能な商品(役務)の類似群コードは、次のとおりです。

- 【類似群コード】
- ・35A01
 - ・35A02
 - ・35B01
 - ・35D01
 - ・35G01
 - ・35G02
 - ・35G03 42P02
 - ・42G02
 - ・35K03 32A01

【図18】



【図 19】

商品(役務)を入力してください。

商品(役務):

「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と同時に指定可能な商品(役務)は、次のとおりです。

【商品(役務)】

- ・広告業
- ・トレーディングスタンプの発行
- ・商品の販売に関する情報の提供
- ・職業のあっせん
- ・速記
- ・書類の複製
- ・コンピュータデータベースへの情報編集
- ・求人情報の提供

・食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供

【図 20】

商品(役務)を入力してください。

商品(役務):

「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と同時に指定可能な商品(役務)は、次のとおりです。

【商品(役務)】

- ・広告業
- ・トレーディングスタンプの発行
- ・商品の販売に関する情報の提供
- ・職業のあっせん
- ・速記
- ・書類の複製
- ・コンピュータデータベースへの情報編集
- ・求人情報の提供

【図 21】

商品(役務)を入力してください。

商品(役務):

「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」「職業のあっせん」と同時に指定可能な商品(役務)は、次のとおりです。

【商品(役務)】

- ・広告業
- ・トレーディングスタンプの発行
- ・商品の販売に関する情報の提供
- ・速記
- ・書類の複製
- ・コンピュータデータベースへの情報編集

・求人情報の提供

【図 22】

商品(役務)を入力してください。

商品(役務):

「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」「食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」「職業のあっせん」「求人情報の提供」と同時に指定可能な商品(役務)は、次のとおりです。

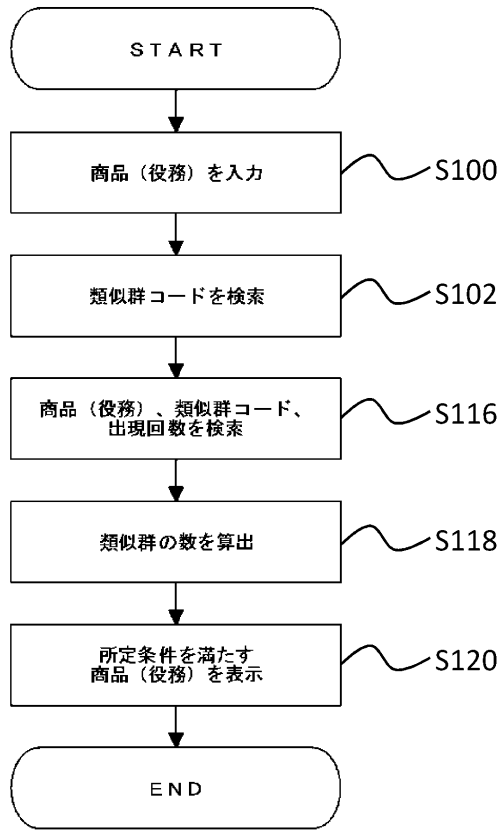
【商品(役務)】

- ・広告業
- ・トレーディングスタンプの発行
- ・商品の販売に関する情報の提供
- ・速記
- ・書類の複製
- ・コンピュータデータベースへの情報編集

【図 23】

| | | |
|---|-------------|----|
| 広告業 | 35A01 | 12 |
| トレーディングスタンプの発行 | 35A02 | 4 |
| 商品の販売に関する情報の提供 | 35B01 | 8 |
| 職業のあっせん | 35D01 | 22 |
| 速記 | 35G01 | 1 |
| 書類の複製 | 35G02 | 4 |
| コンピュータデータベースへの情報編集 | 35G03・42P02 | 3 |
| 求人情報の提供 | 42G02 | 18 |
| 衣料品・放料品及び生活用品に係る各種商品を一括して取り扱う小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35K01 | 6 |
| かぼん糖及び砂糖の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35K02・21C01 | 30 |
| 食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35K03・32A01 | 25 |
| 菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35K03・30A01 | — |
| ヨットの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35K99・12A01 | 2 |
| 船舶用音響器の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35K99・12A01 | 2 |
| グライダーの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 35K99・12A02 | 2 |

【図 2 4】



【図 2 5】

商品(役務)を入力してください。

商品(役務):

「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と同時に指定可能な商品(役務)は、次のとおりです。

| 【商品(役務)】 | 【件数】 |
|----------------------------------|------|
| ・食肉の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供 | 25 |
| ・職業のあっせん | 22 |
| ・求人情報の提供 | 18 |
| ・広告業 | 12 |
| ・商品の販売に関する情報の提供 | 8 |
| ・トレーディングスタンプの発行 | 4 |
| ・書類の複製 | 4 |
| ・コンピュータデータベースへの情報編集 | 3 |
| ・速記 | 1 |

【図 2 6】

| | | | | | | | |
|-------------|---------|-------------|---------|-------------|---------|-------------|---------|
| 指定商品(指定役務)1 | 類似群コード1 | 指定商品(指定役務)2 | 類似群コード2 | 指定商品(指定役務)3 | 類似群コード3 | 指定商品(指定役務)4 | 類似群コード4 |
| 居住用施設の提供 | 42A01 | 飲食物の提供 | 42B01 | 全業種の貸与 | 42X10 | 入浴施設の提供 | 42D01 |
| 居住用施設の提供 | 42A01 | 飲食物の提供 | 42B01 | 全業種の貸与 | 42X10 | 入浴施設の提供 | 42D01 |

【図 2 7】

商願 2011-9999991

【書類名】 商標登録願
 【あて先】 特許庁長官殿
 【商標登録を受けようとする商標】
 △△△
 【標準文字】
 【指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分】
 【第 4 3 類】
 【指定商品 (指定役務)】 宿泊施設の提供, 飲食物の提供
 【商標登録出願人】
 【識別番号】 000000000
 【氏名又は名称】 商標株式会社
 【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 123456
 【納付金額】 12000

【図 28】

商願2011-9999992

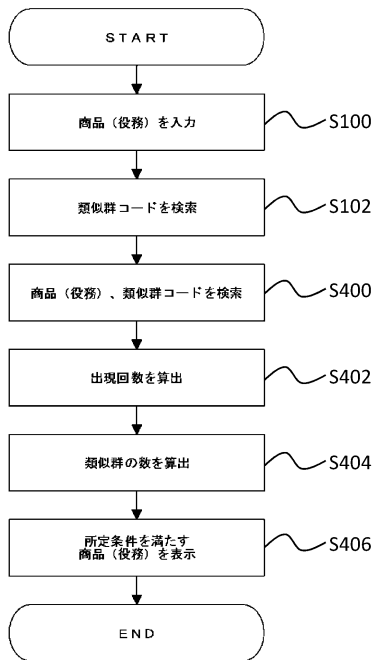
【書類名】 商標登録願
 【あて先】 特許庁長官殿
 【商標登録を受けようとする商標】
 B B B
 【標準文字】
 【指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分】
 【第43類】
 【指定商品（指定役務）】 宿泊施設の提供，飲食物の提供，会議室の貸与
 【商標登録出願人】
 【識別番号】 0 0 0 0 0 0 0 0
 【氏名又は名称】 商標株式会社
 【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 1 2 3 4 5 6
 【納付金額】 1 2 0 0 0

【図 29】

商願2011-9999993

【書類名】 商標登録願
 【あて先】 特許庁長官殿
 【商標登録を受けようとする商標】
 C C C
 【標準文字】
 【指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分】
 【第43類】
 【指定商品（指定役務）】 宿泊施設の提供，飲食物の提供，会議室の貸与
 【第44類】
 【指定商品（指定役務）】 入浴施設の提供
 【商標登録出願人】
 【識別番号】 0 0 0 0 0 0 0 0
 【氏名又は名称】 商標株式会社
 【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 1 2 3 4 5 6
 【納付金額】 2 0 6 0 0

【図 30】



【図 31】

商品（役務）を入力してください。

商品（役務）:

「宿泊施設の提供」に関連する商品（役務）は、次のとおりです。

| 【商品（役務）】 | 【件数】 |
|----------|------|
| 飲食物の提供 | 3 |
| 会議室の貸与 | 2 |
| 入浴施設の提供 | 1 |

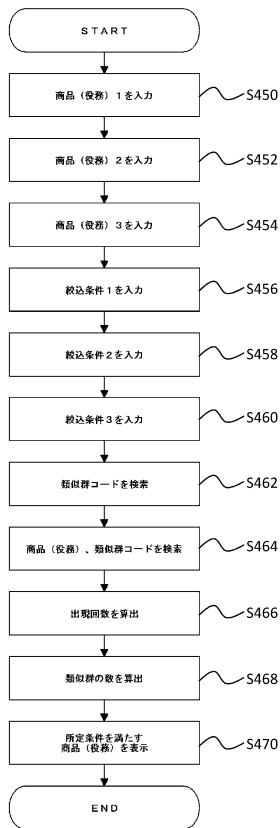
【図 3 2】

| | | | | | |
|-------------|---------|-------------|--------|------------|------|
| 出願番号 | 商標(検索用) | 名称(単純文字列検索) | 出願人 | 出願日 | 代理人 |
| 2011-999991 | AAA | エーエーエー | 商標株式会社 | 2011/12/26 | 代理太郎 |
| 2011-999992 | BBB | ビービービー | 商標株式会社 | 2011/12/27 | 代理太郎 |
| 2011-999993 | CCC | シーシーシー | 商標株式会社 | 2011/12/28 | 代理太郎 |
| 2011-999994 | DDD | ディーディーディー | TM株式会社 | 2011/12/29 | 代理次郎 |
| 2011-999995 | EEE | イーイーイー | TM株式会社 | 2011/12/30 | 代理次郎 |
| 2011-999996 | FFF | エフエフエフ | TM株式会社 | 2011/12/31 | 代理次郎 |

【図 3 3】

| | | | | | |
|-------------|---------|-------------|--------|------------|------|
| 出願番号 | 商標(検索用) | 名称(単純文字列検索) | 出願人 | 出願日 | 代理人 |
| 2011-999991 | AAA | エーエーエー | 商標株式会社 | 2011/12/26 | 代理太郎 |
| 2011-999992 | BBB | ビービービー | 商標株式会社 | 2011/12/27 | 代理太郎 |
| 2011-999993 | CCC | シーシーシー | 商標株式会社 | 2011/12/28 | 代理太郎 |
| 2011-999994 | DDD | ディーディーディー | TM株式会社 | 2011/12/29 | 代理次郎 |
| 2011-999995 | EEE | イーイーイー | TM株式会社 | 2011/12/30 | 代理次郎 |
| 2011-999996 | FFF | エフエフエフ | TM株式会社 | 2011/12/31 | 代理次郎 |

【図 3 4】



【図 3 5】

商品(役務)を入力してください。絞り条件も設定できます。

商品(役務): 区分:

検索項目選択: 商標(検索用) 名称(単純文字列検索) 出願番号/登録申請番号

検索キーワード:

検索方式: OR AND AND AND OR

「宿泊施設の提供」に関連する商品(役務)は、次のとおりです。

| 【商品(役務)】 | 【件数】 | 【区分】 | 【類似群コード】 |
|-------------|------|------|----------|
| 飲食物の提供 | 5 | 43 | 42B01 |
| 会議室の貸与 | 4 | 43 | 42X10 |
| 入浴施設の提供 | 1 | 44 | 42D01 |
| 婚礼のための施設の提供 | 1 | 45 | 42H02 |

【図 3 6】

商品(役務)を入力してください。絞り条件も設定できます。

商品(役務):

| | | |
|---------|----|-------|
| 宿泊施設の提供 | 43 | 42A01 |
| 飲食物の提供 | 43 | 42B01 |
| | | |

区分: 類似群コード:

検索項目選択 検索キーワード 検索方式

商標(検索用) AND OR

名称(単純文字列検索) AND OR

出願番号/登録出願申請番号 AND OR

検索

「宿泊施設の提供」「飲食物の提供」に関連する商品(役務)は、次のとおりです。

| 【商品(役務)】 | 【件数】 | 【区分】 | 【類似群コード】 |
|-------------|------|------|----------|
| 会議室の貸与 | 3 | 43 | 42X10 |
| 入浴施設の提供 | 1 | 44 | 42D01 |
| 婚礼のための施設の提供 | 1 | 45 | 42H02 |

【図 3 7】

商品(役務)を入力してください。絞り条件も設定できます。

商品(役務):

| | | |
|---------|----|-------|
| 宿泊施設の提供 | 43 | 42A01 |
| 飲食物の提供 | 43 | 42B01 |
| 会議室の貸与 | 43 | 42X10 |

区分: 類似群コード:

検索項目選択 検索キーワード 検索方式

商標(検索用) AND OR

名称(単純文字列検索) AND OR

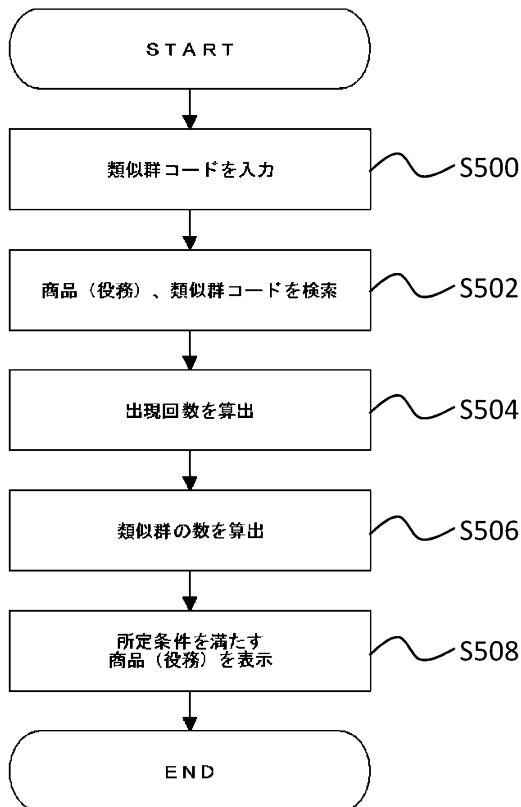
出願番号/登録出願申請番号 AND OR

検索

「宿泊施設の提供」「飲食物の提供」「会議室の貸与」に関連する商品(役務)は、次のとおりです。

| 【商品(役務)】 | 【件数】 | 【区分】 | 【類似群コード】 |
|-------------|------|------|----------|
| 入浴施設の提供 | 1 | 44 | 42D01 |
| 婚礼のための施設の提供 | 1 | 45 | 42H02 |

【図 3 8】



【図 3 9】

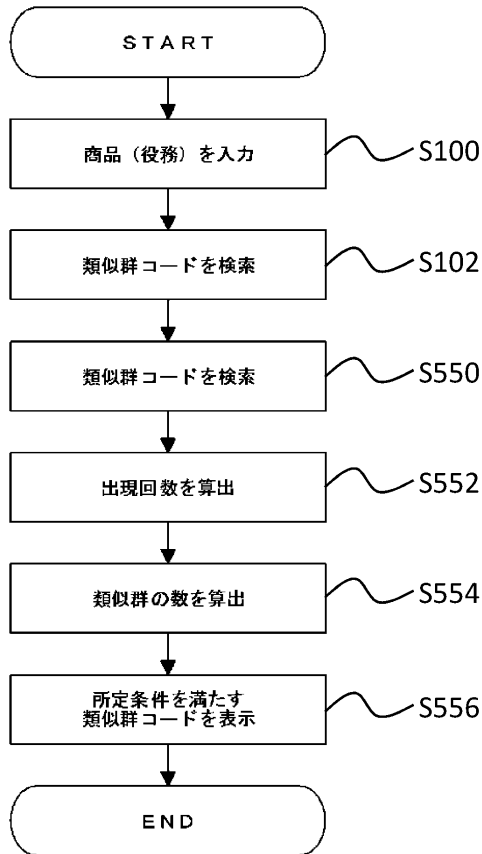
商品(役務)の類似群コードを入力してください。

類似群コード: 検索

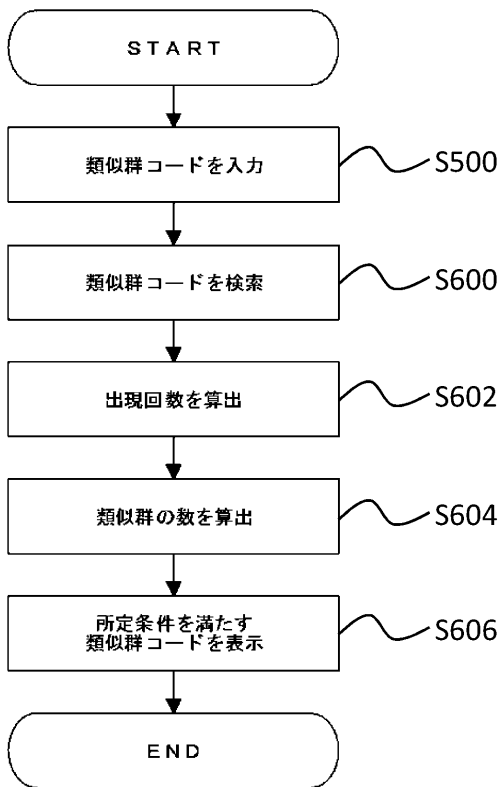
「42A01」の商品(役務)に関連する商品(役務)は、次のとおりです。

| 【商品(役務)】 | 【件数】 |
|----------|------|
| 飲食物の提供 | 3 |
| 会議室の貸与 | 2 |
| 入浴施設の提供 | 1 |

【図40】



【図43】



【図41】

商品(役務)を入力してください。

商品(役務):

「宿泊施設の提供」に関連する商品(役務)の類似群コードは、次のとおりです。

| 【類似群コード】 | 【件数】 |
|----------|------|
| 42B01 | 3 |
| 42X10 | 2 |
| 42D01 | 1 |

【図42】

| 類似群コード1 | 類似群コード2 | 類似群コード3 | 類似群コード4 |
|---------|---------|---------|---------|
| 42A01 | 42B01 | | |
| 42A01 | 42B01 | 42X10 | |
| 42A01 | 42B01 | 42X10 | 42D01 |

【図44】

商品(役務)の類似群コードを入力してください。

類似群コード:

「42A01」の商品(役務)に関連する商品(役務)の類似群コードは、次のとおりです。

| 【類似群コード】 | 【件数】 |
|----------|------|
| 42B01 | 3 |
| 42X10 | 2 |
| 42D01 | 1 |

【図45】

商品(役務)を入力してください。

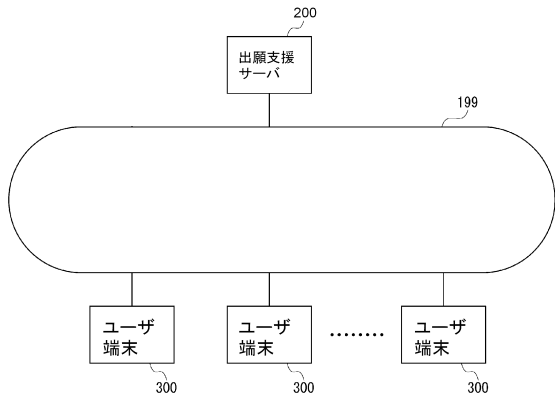
商品(役務):

「菓子及びパンの小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する便益の提供」と同時に指定可能な商品(役務)は、次のとおりです。

【商品(役務)】

- ・役務A1, 役務A2, 役務A3, 役務A4, 商品A5, 商品A6
- ・役務B1, 役務B2, 役務B3, 商品B4
- ・役務C1, 役務C2
- ・役務D1, 役務D2, 商品D3
- ・役務E1, 役務E2, 役務E3, 商品E4, 商品E5
- ・役務F1, 役務F2, 役務F3, 役務F4

【図46】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2007-108888(JP,A)
特開2014-132479(JP,A)
特許第5246459(JP,B1)
米国特許出願公開第2003/0171949(US,A1)
米国特許出願公開第2014/0372316(US,A1)
米国特許出願公開第2014/0181007(US,A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06Q 10/00 - 50/34